SONY

4-277-016-**03**(1)
4277016031

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン

液晶テレビ

取扱説明書

BRAVIA

KDL-40EX52H / 32EX42H / 22EX42H

⚠警告 安全のために

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」に従って点検してください。
1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態（画面が消えていて、本体の⏻ランプが赤色に点灯中）のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

➡

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

危険 火災 感電

下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

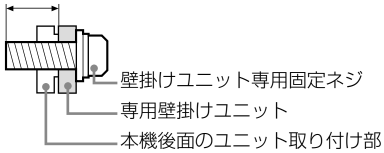
壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、スタンドや壁掛けユニットに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

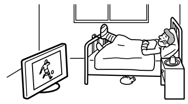
- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジをご使用ください。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが、8 ～ 12mmに設定されています（壁掛けユニットによってネジ径やネジの長さは異なります）。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。



本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止



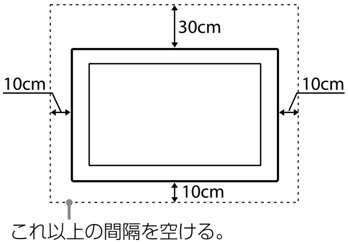
警告 火災 感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

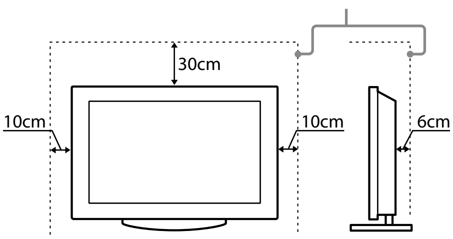
周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

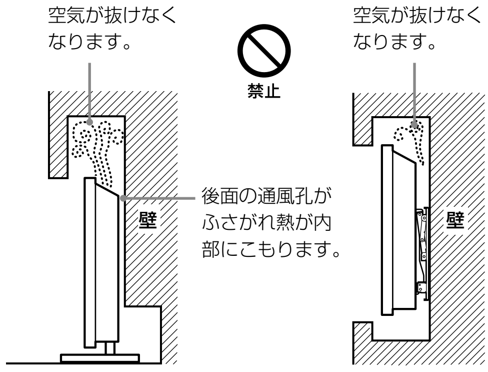
壁に取り付けるとき



スタンドを使用するとき



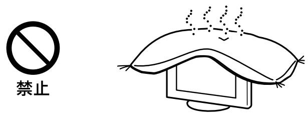
下図のような設置はおやめください。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

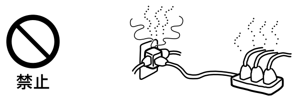
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。



電源（コード、プラグ）

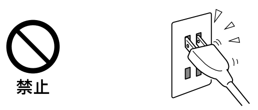
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

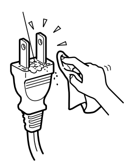
コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



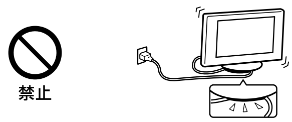
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



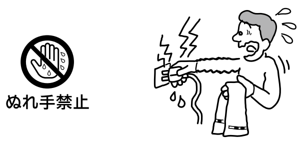
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口に交換をご依頼ください。



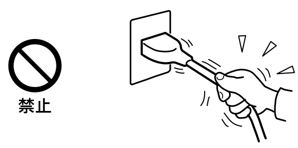
ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



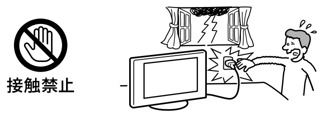
電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



使用

本機にぶらさがらない

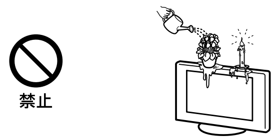
本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

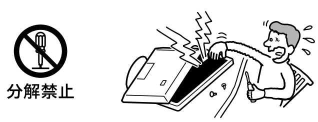
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



移動、設置

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

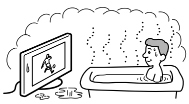

禁止



水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

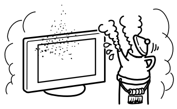

風呂・シャワー室
での使用禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

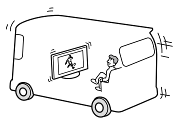

禁止



乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

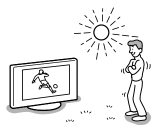

禁止



屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。


禁止



本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。


接触禁止

目や口に液晶を入れない/ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。


接触禁止

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

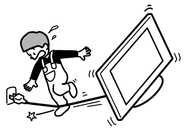
本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。


プラグをコンセントから抜く

人が通行するような場所に置かない
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

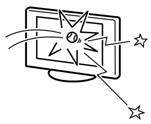
禁止



液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止



音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。
また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

目次

準備する

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.jp/support/connect/guide/index.html

テレビを見る

録画・再生をする

次のページにつづく➡

設定・調整をする

他機器を接続・操作する

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.jp/support/connect/guide/index.html

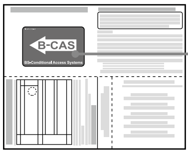
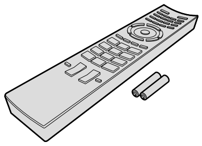
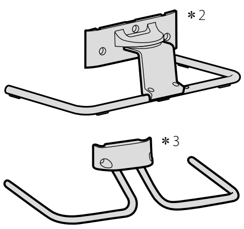
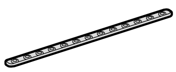
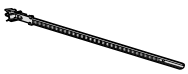
困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

その他

付属品を確かめる

付属品一覧

• B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）（1枚） 台紙に貼り付けてあります。	
• リモコン（1個） • 単4形乾電池（2個）	
• スタンド（1個）*1	
• スタンド組み立て用ネジ（+PSW M5×16mm）（2本）*2、（+PSW M4×12mm）（2本）*3	
• 本体固定用ネジ（+PSW M5×16mm）（3本）*2、（+PSW M4×12mm）（2本）*3	
• 転倒防止用ベルト（1本） • 取付用ネジ（＋PSW M4×10mm）（1本） • 木ネジ（M3.8×20mm）（1本）	 取付用ネジ  木ネジ 
• ワイヤークランパー（1本）*4	

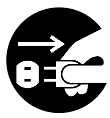
*1 スタンドは組み立てる必要があります。詳しくは、別紙のかんたん設置ガイドをご覧ください。
*2 KDL-40EX52H/32EX42Hのみ付属。
*3 KDL-22EX42Hのみ付属。
*4 本機後面に付いています。

本書では特に記載がない限り、KDL-32EX42Hのイラストを使用しています。

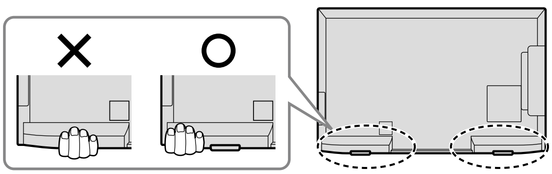
本機の持ち運びかた

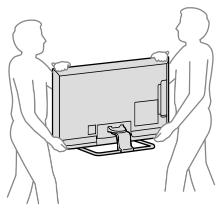
正しい方法で運搬／移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

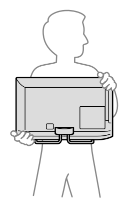


プラグをコンセントから抜く





KDL-40EX52H/KDL-32EX42H



KDL-22EX42H

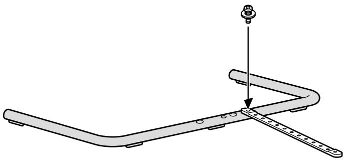
スタンドを取り付ける

取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

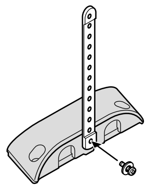
1 **スタンドに転倒防止用ベルトを取り付ける。**

転倒防止用ベルト（付属）をスタンドに取付用ネジ（付属）でしっかりと留めてください。

KDL-40EX52H/32EX42H



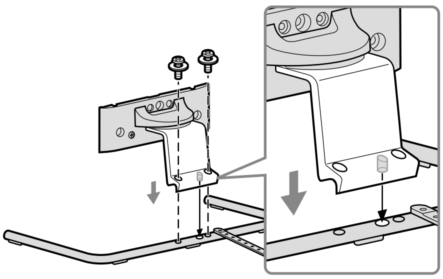
KDL-22EX42H



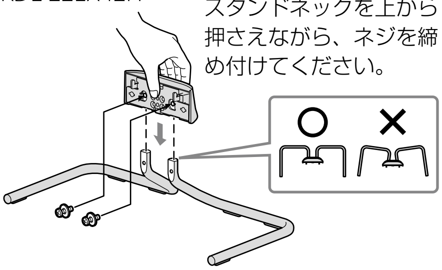
2 **スタンドを組み立てる。**

スタンド組み立て用ネジ（付属）でしっかり留めてください。

KDL-40EX52H/32EX42H



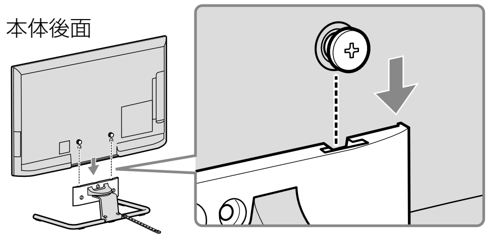
KDL-22EX42H



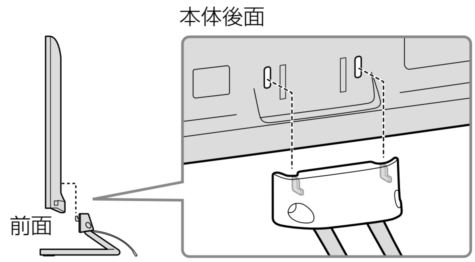
3 **本体をスタンド（付属）に載せる。**

KDL-40EX52H/32EX42Hの場合は、必ず2人以上で行ってください。
片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

KDL-40EX52H/32EX42H



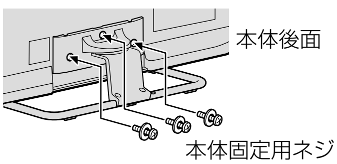
KDL-22EX42H



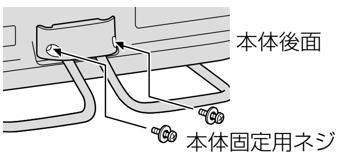
4 **⬆の位置で本体固定用ネジ（付属）を締め、スタンドを固定する。**

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N･m {15kgf･cm} に設定してください。

KDL-40EX52H/32EX42H



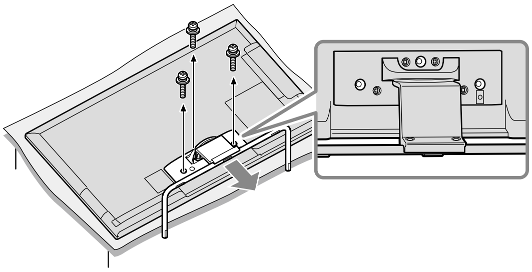
KDL-22EX42H



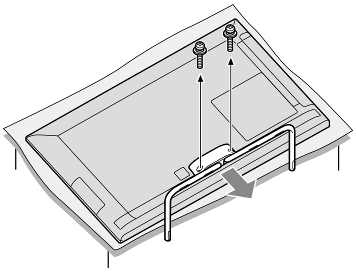
スタンドを取りはずす

本機を別売の壁掛けユニットやフロアスタンドなどと使うときは、付属のスタンドを取りはずしてください。

KDL-40EX52H/32EX42H



KDL-22EX42H



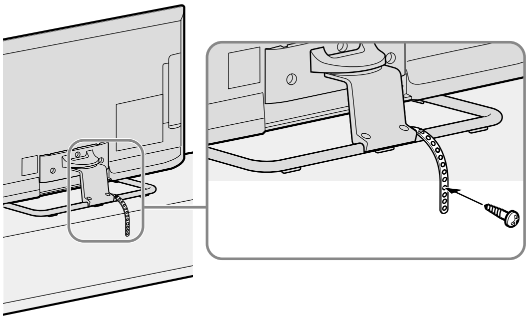
ご注意

- 取りはずしたスタンドのネジは、壁掛けユニットやフロアスタンドなどの取り付けに使用しないでください。
- 取りはずしたスタンドおよびネジは、大切に保管してください。スタンドに戻す場合に必要です。スタンドを個別に購入することはできません。

転倒防止の処置をする

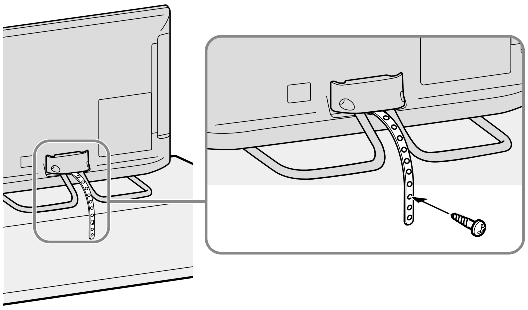
スタンドに取り付けた転倒防止用ベルト（付属）を（☞10ページ）、テレビ台などに木ネジ（付属）などでしっかりと留めてください。

KDL-40EX52H/32EX42H



本機後面

KDL-22EX42H



本機後面

ご注意

- 転倒防止の処置をしないと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
- テレビ台の種類により、付属の木ネジが使用できないときや、強度が充分とれないときには、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ（直径3 ～ 4mm）をご使用ください。

B-CAS（ビーキャス）カードを入れる

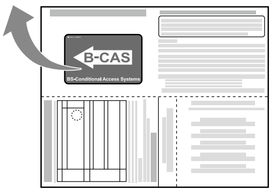
B-CASカード（デジタル放送用ICカード）はお客様と、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。
必ずB-CASカードを挿入してください。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

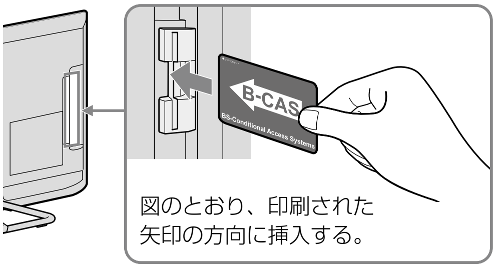
1 同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解されたうえで、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CASカードを貼ってある台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

はがす。



2 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。



本機左側面

ご注意

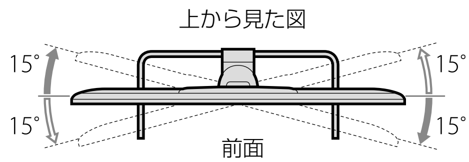
2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用しています。
B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。

見やすい角度に調節する

ご注意

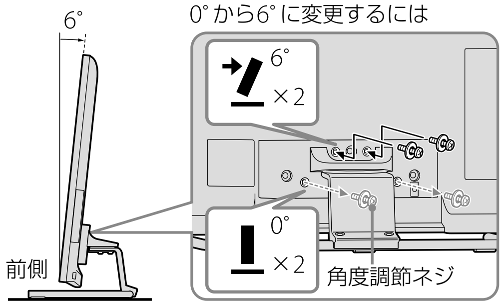
- 本体とスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。また、壁などにぶつからないようにしてください。
- 液晶画面には触れないでください。
- スタンドの角がテレビ台などからはみ出さないようにスタンドの位置を調節してください。はみ出すと落下やけがのおそれがあります。
- スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えながら調節してください。

画面の向きを調節する（スイーベル）（KDL-40EX52H/32EX42Hのみ）

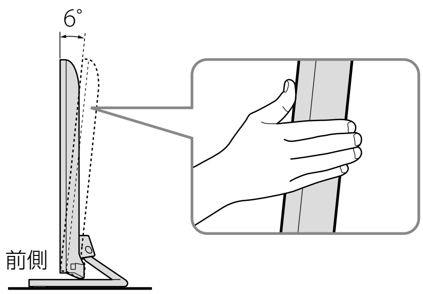


画面の角度を調節する（チルト）

KDL-40EX52H/32EX42H



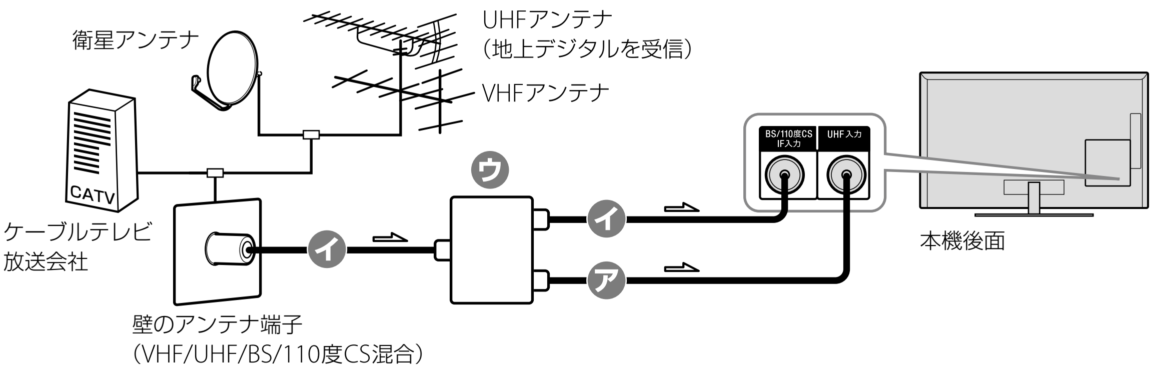
KDL-22EX42H



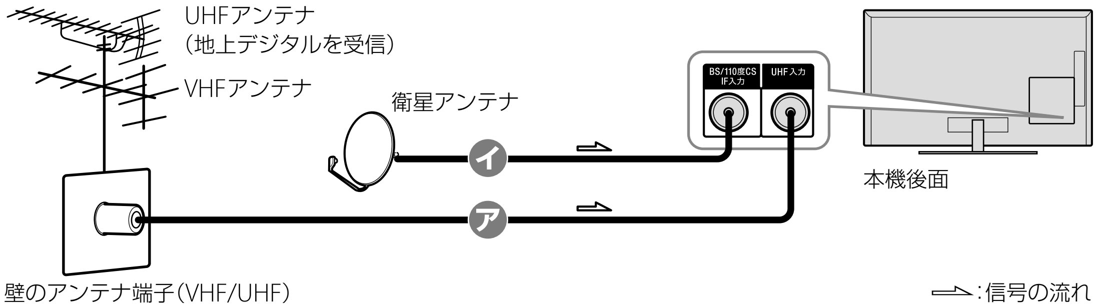
アンテナをつなぐ

録画機器の接続は、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

地上波と衛星放送の信号が混合の場合



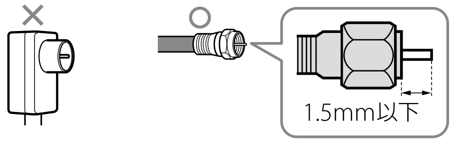
地上波と衛星放送の信号が個別の場合



ア VHF/UHF用同軸アンテナケーブル(別売り、EAC-DS15SS(2011年1月現在)など)



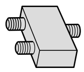
プラスチック製　F接栓型



イ 衛星用同軸ケーブル(別売り)



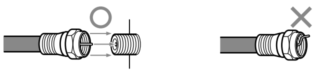
ウ 110度CSデジタルに対応したCS/BS/地上波放送対応分波器(別売り、EAC-DSSM2(2011年1月現在)など)



全端子電流通過型のCS/BS/地上波放送対応分配器(別売り、EAC-DSD12(2011年1月現在)など)もご使用できます。

ご注意

曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。



ちょっと一言

- 現在お使いのUHFアンテナやアンテナケーブルでも地上デジタルを受信できます。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- ケーブルテレビでも地上デジタルを受信･視聴できます。お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は パススルー方式のすべての周波数に対応しています。
- 衛星アンテナをつなぐと、高画質･高音質で、各種テレビ放送･データ放送などが楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

ケーブルをまとめる

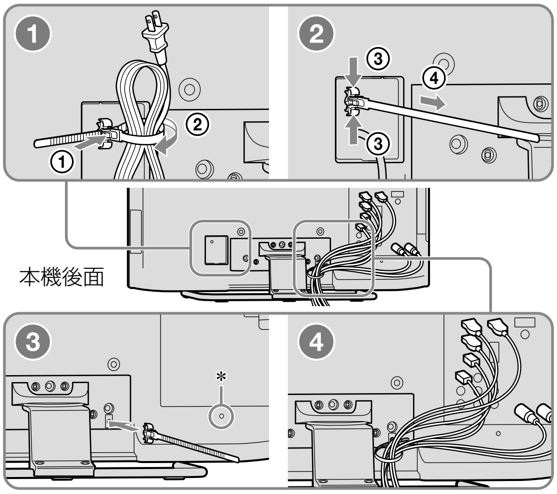
ワイヤークランパーを使ってケーブルをまとめます。

ご注意

電源コードはまとめないでください。

KDL-40EX52H/32EX42H

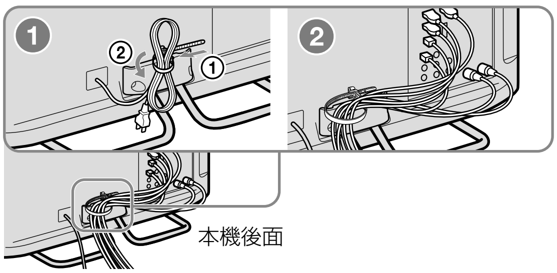
1. ワイヤークランパーをほどく。
2. テレビからいったんはずす。
3. 位置を替えて再び取り付ける。
4. ケーブルをまとめる。



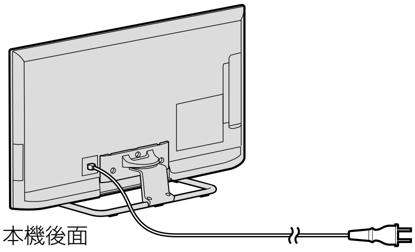
* ワイヤークランパーはこの位置にも取り付けられます。

KDL-22EX42H

1. ワイヤークランパーをほどく。
2. ケーブルをまとめる。



電源コードをつなぐ



コンセントの奥までしっかり差し込んでください。

ソフトウェアのダウンロードについて

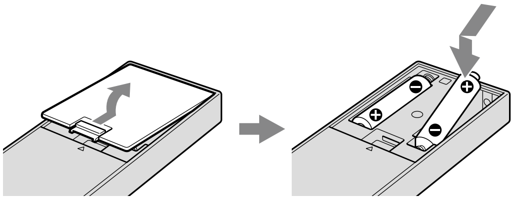
本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを書き換えます。電源コードを抜いていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしていると、ダウンロードは行われません。

ソフトウェアの書き換え中は、本機前面の⊠ ⏻ ランプがオレンジ色に点滅します。電源コードを抜かないでください。ソフトウェアの書き換えが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる。

裏面



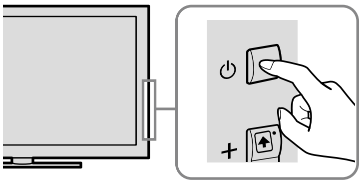
つまみを押しながら、
ふたを上げる。

⊖極側から電池を
入れる。

かんたん初期設定をする

地上･BS･110度CSデジタルの受信設定は、「かんたん初期設定」で一度にできます。

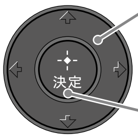
1 電源を入れる。



電源スイッチを1回押す。

本機右側面

2 画面のメッセージに従い、リモコンで設定する。



↑↓←→で項目や設定を選ぶ。

決定ボタンで選んだ項目や設定を確定する。

リモコンボタンに希望のチャンネルを割り当てる

数字ボタンのチャンネルは自動で割り当てられるので、お好みのチャンネルと異なることがあります。その場合は手動で変更してください。
ホームボタンを押して、(設定)→(放送受信設定)から下記のように選び、お好みのチャンネルに変更します。
地上デジタル：[地上デジタル放送受信設定]→[地上デジタル：プリセット登録]
BS･110度CSデジタル：[BS･CSデジタル放送受信設定]→[BS：プリセット登録]または[CS：プリセット登録]

マンションなどの共同受信システムの設定をする

[BS･CS：衛星アンテナ設定]を[切]にしてください。
ホームボタンを押して、(設定)→(放送受信設定)→[アンテナ設定]→[BS･CS：衛星アンテナ設定]→[切]の順に選びます。

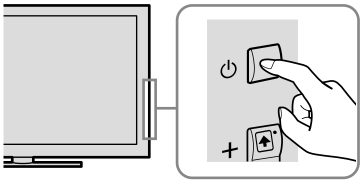
かんたん初期設定をあとでやり直す

引越しなどでお住まいの地域が変わったときや地上デジタル放送が開始されたときは、「かんたん初期設定」をやり直してください。
ホームボタンを押して、(設定)→(かんたん設定)→[かんたん初期設定]を選び、画面のメッセージに従って設定します。

テレビを見る



1 電源を入れる。



電源スイッチを
1回押す。

本機右側面

2 見たい放送を選ぶ。

デジタル放送の高画質・高音質で多彩な番組を
ご覧いただけます。

3 チャンネルを選ぶ。

チャンネル＋／－ボタンを押します。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12ボタンを押します。

- 011chの場合：10キー → 10 → 1 → 1 → 12

枝番が付いているチャンネルを選局するには

他の地域の放送も受信できる場合、重複するチャンネル番号を区別するために、補助的な番号（枝番）が付いています（地上デジタルのみ）。

- 011-2chの場合：10キー → 10 → 1 → 1 → 11 → 2 → 12

オプションメニューを使いこなす

オプションボタンを押すと、そのとき使える機能が表示されます。↑↓を押して項目を選び、（決定）を押してください。

ちょっと一言

チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン、数字ボタンの「5」の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

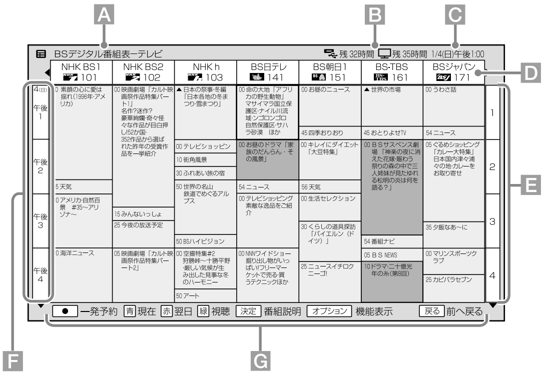
番組表を見る

放送局が送信する番組情報をもとに、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの番組表を見ることができます。また、番組を選んで予約することもできます。

1 デジタル放送視聴中に、（番組表/予約）を押す。

2 ↑↓で放送の種類を選び、（決定）を押す。

例：BSデジタルの番組表の場合



上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

- **A 放送名**
- **B 録画可能残時間**
- **C 現在の日時**
- **D チャンネル**
  ←→で左右にスクロールします。
- **E 番組一覧**
  ↑↓←→で番組を選んで、（決定）を押すと、選んだ番組の番組説明（☞18ページ）が表示されます。
- **F 放送日時**
  ↑↓で上下にスクロールします。
- **G 操作ガイド表示欄**
  番組表を表示中にリモコンでできることをガイド表示します。

マークの意味

● ：録画中の番組*

（時計マーク）（赤）：録画予約した番組

¥ ：有料番組

▲／▼：前の時間帯または次の時間帯に続いている番組

時刻表示欄 ▌（赤）：録画予約が入っている時間帯

番組表示欄 ▌（グレー）：代表チャンネルのみを表示しているとき
省略されたチャンネルでは、別の番組を放送していることを示しています。 省略されたチャンネルを表示するには、オプションの［チャンネル表示形式］で［すべて表示］を選んでください。

＊ 録画ボタンを押して見ている番組を録画している場合は、番組表に録画中の●（赤）マークは表示されません。

ご注意

本体の電源スイッチで電源を切ると、番組表の情報が失われることがあります。

次のページにつづく➡

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像／音声情報など番組の詳しい情報を見ることができます。

番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選んで、(決定)を押す。



上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A **マーク(右記)**

B **番組の状況**
「開始前」や「終了」など状況を表示します。

C **番組内容・情報表示欄**
あらすじや出演者などの情報を表示します。
「映像情報」、「音声情報」、「コピーコントロール」(録画や録音についての情報☞94ページ)などの情報も表示します。

D **放送中の番組のとき**

[視聴]
選局します。

放送開始前の番組のとき

[録画予約]
予約設定画面が表示されます(☞21ページ)。予約済みの番組のときは予約を修正したり、削除したりできます。

マークの意味
字 :字幕放送(☞97ページ)
d :テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞19ページ)
MV :マルチビュー放送
HD :デジタルハイビジョン信号HD
SD :標準テレビ信号SD
視聴年齢制限マーク :視聴年齢制限付き番組(☞48ページ)
¥ :有料番組

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。
二 :二か国語放送
S :ステレオ放送
字 :字幕放送(☞97ページ)
B :圧縮Bモードステレオ放送
N :ニュース番組

連動データを楽しむ

番組と連動しているデータ放送を見ることができます。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認するなど、番組によってさまざまなデータ放送を楽しめます。また、郵便番号の設定をすれば(☞43ページ)、天気などのお住まいの地域の情報を見ることができます。

1 デジタル放送視聴中に、連動データ d を押す。

連動データの画面に切り換わります。

連動データ放送の例



2 ▲▼◀▶や青・赤・緑・黄(カラーボタン)、(戻る)などを使って、画面に従って操作する。

視聴者参加型のデータ放送を楽しむには

自宅にいながら、放送局とやり取り(双方向通信)できるので、クイズ番組に参加したりアンケートに答えたり、ショッピングしたりできます。ネットワーク回線(☞58ページ)の接続が必要です。

独立データ放送／ラジオ放送を楽しむ

データのみを専門に扱っている独立データ放送や衛星放送で流れているラジオ放送を楽しめます。ただし、ラジオ放送は2011年1月現在、休止中です。

1 デジタル放送視聴中に、(番組表/予約)を押す。

2 ▲▼で放送の種類を選び、決定を押す。

3 (オプション)を押す。

4 ▲▼で[サービス切換]を選び、決定を押す。

5 [すべて]を選び、決定を押す。

6 ◀▶でデータ放送のチャンネルを選んで、緑を押す。

独立データ放送の例



7 ▲▼◀▶や青・赤・緑・黄(カラーボタン)、(戻る)などを使って、画面に従って操作する。

ちょっと一言

10キーボタンを押したあと、チャンネル番号を入力することで選局することもできます(☞16ページ)。

録画・再生をする



録画する

見ている番組をすぐに録画したいとき

録画 を押す。（☞28ページ）

本体HDDに録画します。
録画を停止するときは ■(停止)を押します。

番組表から録画予約したいとき

(番組表/予約)を押す。（☞21ページ）

本体HDDまたは別売りの外付けHDDに録画します。日時を指定して録画予約することもできます（☞23ページ）。

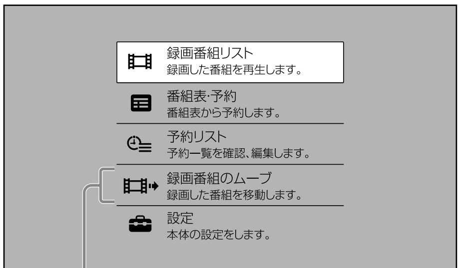
再生する

録画した番組を再生したいとき

見る を押す。（☞29ページ）

ホームメニューを使いこなす

ホームボタンを押すと、録画・再生に関するさまざまな機能を使うことができます。録画設定も変えられます。



外付けHDD接続時のみ表示

ご注意

録画予約後、本体の電源スイッチで電源を切らないでください。

番組表から録画する

外付けHDDに録画するときは

あらかじめ外付けHDDを接続してください（☞55ページ）。
外付けHDDに関する注意事項については、「外付けHDDをご使用時の注意事項」（☞93ページ）をご覧ください。

ハードディスクに関する免責事項

- 万一何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機を修理した場合（本体ハードディスク以外の修理も含む）においても同様です。あらかじめご了承ください。
- ハードディスクに関するその他の注意事項につきましては、「録画・再生機能についてのご注意」（☞93ページ）をご覧ください。

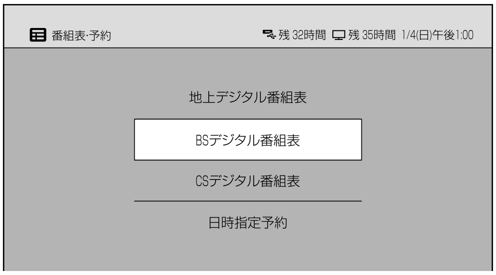
ご注意

- 本機で録画できるのはデジタル放送のみです。外部入力（ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント、HDMI1、HDMI2、HDMI3、PC）は録画できません。
- 録画した映像は本機以外のテレビでは見ることはできません。

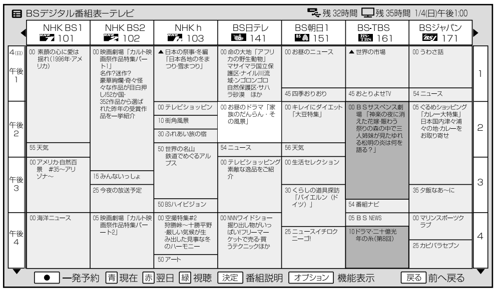
番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。
各放送のサービスごとに番組表が用意されています。視聴したい放送の番組表を選んでから番組表を使ってください。

1 （番組表/予約）を押す。

2 ↑↓で録画したい放送の種類を選び、（決定）を押す。



3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、（決定）を押す。



4 ←→で［録画予約］を選び、（決定）を押す。

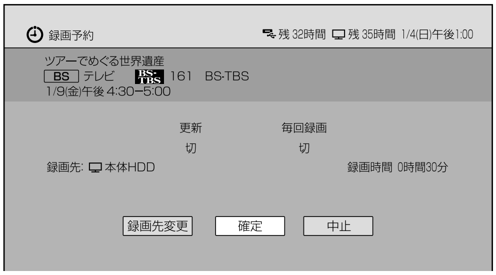


番組説明画面の見かたについては、☞25ページをご覧ください。

次のページにつづく➡

5 ↑↓←→で[確定]を選び、（決定）を押す。

予約設定内容を変更したいときは「予約を変更する」(☞24ページ)をご覧ください。



予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に⏲が表示されます。
同じ時間帯に予約が重複している場合は、確認画面が表示されます。

ご注意

- 番組表の番組表示は、8日先まで表示します。
- 予約可能な番組数は、最大50件です。また、録画番組リストに表示される番組数は、最大300件です。

録画先を変更したいときは

手順5で[録画先変更]を選び、（決定）を押します。[本体HDD]または[外付けHDD]を選び、（決定）を押します。外付けHDDに録画するときは、あらかじめ外付けHDDを接続してください(☞55ページ)。

ちょっと一言

- デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主+副音声が送られたり、第1音声(日本語)、第2音声(英語)などのように送られる場合があります。
  本機では、複数の音声信号が記録されます。
- 視聴年齢制限付き番組を予約するには、暗証番号の入力が必要です(☞48ページ)。

録画予約画面の見かた



A 録画先
録画先(本体HDDまたは外付けHDD)を表示します。

B 更新
毎回録画を設定したときに[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。

C 毎回録画
毎日放送される番組などを毎回録画します(毎日、月-土など)。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。

D 録画時間
本体HDDまたは外付けHDDの使用領域を表示します。

画質と録画可能時間(本体HDD)

画質	録画可能時間(目安)
地上デジタル放送(HD画質)	約65時間
BS･110度CSデジタル放送(HD画質)	約46時間
地上･BS･110度CSデジタル放送(SD画質)	約92時間

ご注意

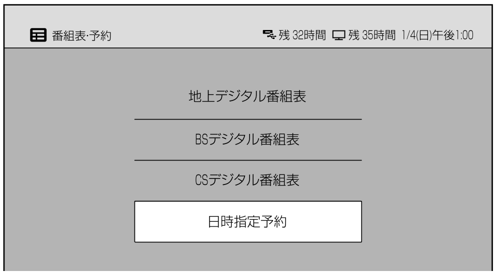
- 動画の動きによって録画時間が変わります。
- 録画中の録画延長はできません。
- 本機に長時間録画モードはありません。
- 番組表や設定画面などに表示される録画可能残時間(☞17ページ)は、地上デジタル放送(HD画質)とBS･110度CSデジタル放送(HD画質)の録画可能残時間を平均した数値を表示します。

日時指定で録画する

録画したい日付、時間、チャンネルを選び、録画予約できます。

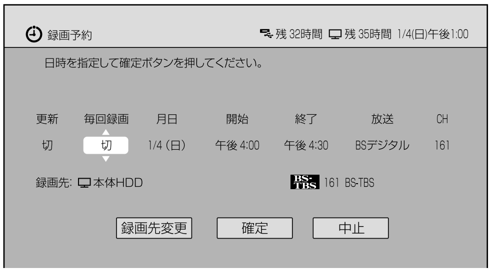
1 （番組表/予約）を押す。

2 ↑↓で[日時指定予約]を選び、決定を押す。



3 ↑↓で設定欄を選び、決定を押す。

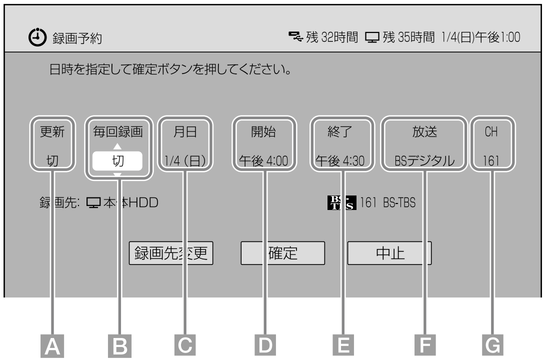
4 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。



5 [確定]を選び、決定を押す。

予約設定内容を変更したいときは「予約を変更する」（☞24ページ）をご覧ください。
録画先を変更したいときは、［録画先変更］を選び、決定を押します。詳しくは「録画先を変更したいときは」（☞22ページ）をご覧ください。

録画予約画面の見かた



A 更新
毎回録画を設定したときに[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。

B 毎回録画
毎日放送される番組などを毎回録画します（毎日、月-土など）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。

C 月日
録画を行う月日を設定します。

D 開始
録画開始時間を設定します。

E 終了
録画終了時間を設定します。

F 放送
録画する放送（地上デジタル／ BSデジタル／ CSデジタル）を設定します。

G CH
録画するチャンネルを設定します。

予約を確認・変更する

予約リストは録画予約されている番組を一覧表示します。予約リストから、予約の変更や削除、重複確認、優先順の変更ができます。

予約を確認する

1 ホーム **を押す。**

2 ↑↓**で［予約リスト］を選び、**決定**を押す。**

予約リストが表示されます。

予約リストの見かた



A **マーク**
●(赤):録画中
全て:録画可(全て)
一部:録画可(一部)
不可:録画不可

B **予約番組名**

C **予約日時**

D **毎回録画の設定状態**

E **チャンネル番号・ロゴ**

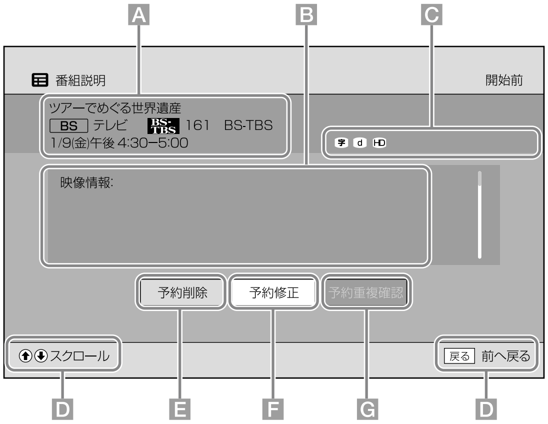
F **更新マーク**

G **録画先マーク**

予約を変更する

予約リストで番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、［予約修正］を選びます。変更したい項目を設定し直してから、［確定］を選び、決定を押します。

番組説明画面の見かた



A 番組・放送局名・放送時間

B 番組の情報
出演者や、映像情報、音声情報、データ情報などの番組の詳しい内容が表示されます。⬆⬇で情報をスクロールすることができます。

C マーク
放送サービスの種類などがマークで表示されます。

> マークの意味
> 字 :字幕放送(☞97ページ)
> d :テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞19ページ)
> MV :マルチビュー放送
> HD :デジタルハイビジョン信号HD
> SD :標準テレビ信号SD
> :視聴年齢制限付き番組(☞48ページ)
> ¥ :有料番組

D 操作ガイド
番組説明画面で行う操作に使うボタンを表示します。

E 予約削除
予約の削除ができます。

F 予約修正
予約の修正ができます。

G 予約重複確認
重複している予約を確認できます。

予約を取り消す

番組説明画面で[予約削除]を選び、決定を押します。

録画を停止する

番組説明画面で[録画停止]を選び、決定を押します。

予約の重複を確認する

予約リストで番組を選んで、決定を押します。番組説明画面から「予約重複確認」を選んで確認します。

予約の優先順位を変更する

本機では、録画の優先順位にしたがって録画します。
優先順位は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

優先順位を変更するには

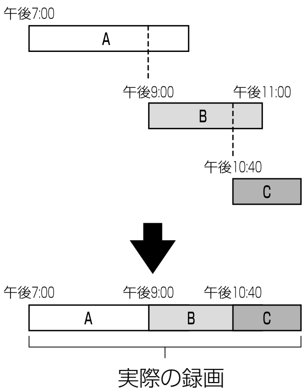
予約リストで最優先したい番組を選んで、緑(緑)を押します。優先変更画面で[はい]を選び、決定を押します。

録画・再生をする

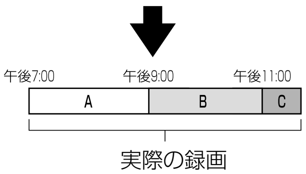
次のページにつづく➡

予約が重なっているときは

新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、「一部」または「不可」が付きます。
重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。
例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合（番組[C]の優先順位が一番高い）



番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。



予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の予約の最後部は録画されません。

ちょっと一言

- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。
- 重複していない予約に対しても優先変更はできます。

前回録画した番組を消して録画する（更新録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画した番組を削除した上で、新しい回を録画します。
[更新録画]を設定する場合は、[録画予約]で[毎回録画]が設定されているタイトルが対象になります（☞22、23ページ）。

1 予約リストで番組を選び、(決定)を押す。

番組説明画面が表示されます。

2 ←→で[予約修正]を選んで、(決定)を押す。

3 ↑↓で設定欄を選び、(決定)を押す。

4 ←→で[更新]を選んで、↑↓で[入]に設定し、(決定)を押す。

5 [確定]を選んで、(決定)を押す。

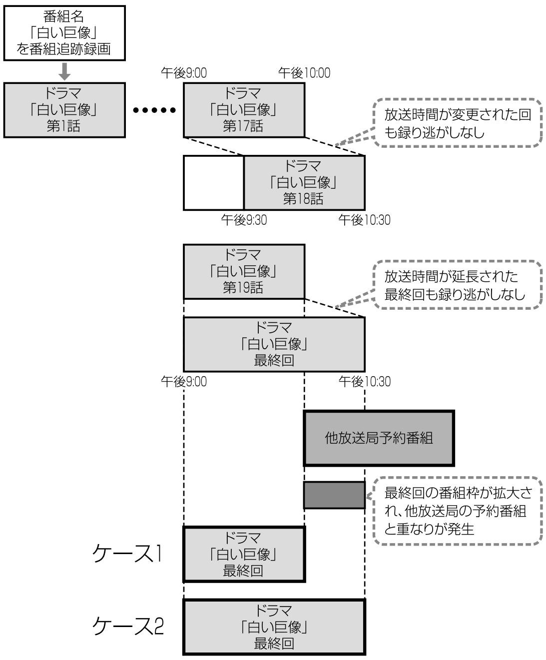
リモコンの電源スイッチで電源を切っても、予約した録画開始時刻になると録画が始まります。ただし、本体の電源スイッチで電源を切ると録画されません。

放送時刻の変更に合わせて録画する（番組追跡録画）

番組表からの予約で対応する機能です。日時指定予約には対応しません。
連続ドラマなどで特定の回だけ別枠の時間で放送されても追跡して録画する機能です。急な番組延長のように、直前に放送が変更される「流動編成」*の録画追跡には対応していません。

* 「流動編成」とは以下のような放送を指します。
- 開始時刻が遅れたとき
- 放送中に中断や割り込みがあったとき
- 終了時刻が延長されたとき

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。
また、1回だけの予約の場合は放送予定の前日以前に放送時間枠が確定し、番組データが更新された場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。
本機の番組表データの更新は1日1回、午前0時頃(視聴中の場合は電源スタンバイになったあと)に実行され、このデータに基づき自動補正されます。



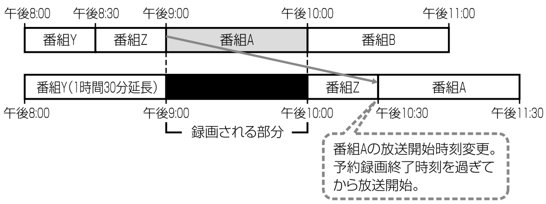
上記のように番組放送時刻が変更になり、最終回が他放送局の予約番組と重なりが発生した場合は、録画の優先順位に基づいてケース1、ケース2のように録画されます。詳しくは、「予約の優先順位を変更する」(☞25ページ)をご覧になり、適正に予約の優先度を変更してください。

番組追跡録画できない条件について

以下の2つの条件が重なると番組追跡録画できません。

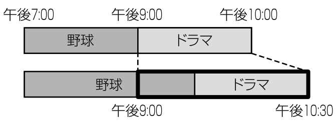
- 予約した番組の2つ前の番組の終了時刻が、予約した番組の本来の終了時刻を越えた場合
- 予約した番組の開始時刻が変更され、変更前の番組開始時刻までに更新された番組表が取得できなかった場合

例:午後9:00から午後10:00まで放送予定の番組Aを録画予約しています。番組Yの放送時間に1時間30分の延長が発生した場合、番組Aの放送開始時刻に変更が発生します。しかし番組Aの開始時刻が変更されても、本機の番組表情報は更新されません。そのため、変更後の番組A放送開始時刻(午後10:30)からは録画を開始せず、予約済みの録画開始時刻から録画を開始し、黒い部分が録画されます。



流動編成の場合

流動編成が実施された場合、終了時刻は追跡しますが、録画開始時刻が追跡できないため、下記のような太線枠の時刻で録画を行います。



野球中継が30分延長した場合

- 変更前の時刻で録画開始し、終了時刻は番組の最後まで追跡します。
- 番組名やサムネイルは、録画開始時の番組(上記の例では「野球」)から取得されます。

次のページにつづく➡

見ている番組を録画する

録画 を押す。

本体HDDへ録画を開始します。
録画時間は、お買い上げ時は[番組終了]に設定されています。
この設定を変更するには、[録画設定]の[録画時間]を、[2時間]／[3時間]／[4時間]に設定します（☞46ページ）。

次の場合、録画を押しても録画は実行されません。

- 本機の電源が入っていない場合
- 録画中
- 外部入力になっている場合
- 録画した番組を再生している場合
- ホームメニュー画面を表示している場合
- 録画した番組が300番組あるときに[自動削除]が[切]に設定されていたり、[入]に設定されていて録画した番組がすべてプロテクトされている場合

録画を停止するには

■（停止）を押します。

ご注意

- 録画予約が実行されると、録画ボタンによる録画は停止されます。
- 録画番組は複数に分かれて録画されることがあります。
- 録画ボタンで録画できるのは本体HDDのみです。外付けHDDには録画できません。
- 録画ボタンを押して見ている番組を録画している場合は、番組表に録画中の●（赤）マークは表示されません。

ちょっと一言

- 番組追跡録画機能は、お買い上げ時は[入]に設定されています。この機能を使わないようにするには、[録画設定]の[番組追跡録画]を、[切]に設定します（☞46ページ）。
- 同じ番組を別のチャンネルで継続して放送する場合（イベントリレー）は追跡録画できません。

再生する

1 (見る)を押す。

2 ←→で再生元([本体HDD]または[外付けHDD])を選び、決定を押す。

初期化された外付けHDDが接続されているときに必要な操作です。

3 ↑↓で再生したい番組を選び、決定を押す。

再生をやめるには、(戻る)または■(停止)を押して停止します。

(見る)を押すと、録画番組リストに戻ります。

録画番組リスト上でオプションボタンを押してできること

HDD情報	HDDの情報を表示します。
選択削除	映像を選択して削除します。
予約リスト	予約リスト画面を表示します。
録画番組のムーブ	録画した番組を移動します。
削除	映像を削除します。
番組情報	番組詳細の表示をします。

再生中にオプションボタンを押してできること

画質	画質を設定します。
音質	音質を設定します。
HDD情報	HDDの情報を表示します。
画面モード	画面モードを設定します。
頭出し	録画した番組を始めから再生します。
再生停止	再生を停止します。
映像切換	アングルなど切り換えが可能な映像の場合に使用できます。
番組情報	番組詳細の表示をします。

音声や字幕を切り換えるには

(音声切換)や(字幕)を押すたびに、音声信号や字幕の言語が切り換わります。切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

再生のいろいろな操作

押すボタン	できること
⏮ ⏭(前/次)	前や次のチャプターに進みます。 1つ前のチャプターの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 タイトルをまたいで進むことはできません。
(30秒送り)	30秒先に進みます。
(早戻し/早送り)	● →で早送り再生、←で早戻し再生します。 ● 再生中にくりかえし押すと4段階で早送り再生(▶▶1(2倍)、▶▶2(10倍)、▶▶3(30倍)、▶▶4(120倍))または早戻し再生(◀◀1(2倍)、◀◀2(10倍)、◀◀3(30倍)、◀◀4(120倍))します。 **ちょっと一言** ◀◀(早戻し) ▶▶(早送り)でも同様の操作ができます。
(停止) 決定(一時停止)	停止や一時停止します。 **ちょっと一言** ■を押して停止、❚❚を押して一時停止することもできます。

次のページにつづく→

録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

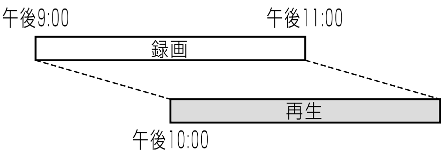
録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

1 [見る]（見る）を押す。

2 ←→で再生元（[本体HDD]または[外付けHDD]）を選び、[決定]を押す。

初期化された外付けHDDが接続されているときに必要な操作です。

3 ↑↓で再生したい番組を選び、[決定]を押す。



録画しながら他の番組を再生する（同時録画再生）

番組を録画中に、録画した他の番組を再生できます。再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。

ムーブ（移動）する

本体HDDに録画した番組を外付けHDDにムーブ（移動）して保存しておくことができます。外付けHDDに録画した番組を本体HDDにムーブ（移動）することもできます。

1 [ホーム]を押す。

2 ↑↓で[録画番組のムーブ]を選び、[決定]を押す。

3 ←→でムーブしたい番組が記録されているムーブ元（[本体HDD]または[外付けHDD]）を選び、[決定]を押す。

4 ↑↓でムーブしたい番組を選び、[決定]を押す。

選んだ番組にはチェックマークが付きます。



5 →で[確定]を選び、[決定]を押す。

6 ←→で[はい]を選び、[決定]を押す。

ご注意

- ムーブ中は、録画･予約･再生（録画リスト表示を含む）はできません。
- ムーブ選択時に録画開始時間になると、ムーブ選択画面は消えます。
- 録画中はムーブできません。ムーブ中にムーブ速度が何らかの理由で遅れるなどして録画開始時間になった場合は、ムーブはキャンセルされます。
- ムーブ中に本体の電源スイッチで主電源を切ると、ムーブはキャンセルされます。
- ムーブがキャンセルされた場合は、ムーブが完了した番組までムーブ先に移動します。ムーブ中の番組はムーブ元に残ります。
- ☞68ページや「外付けHDDをご使用時の注意事項」（☞93ページ）もご覧ください。

削除する

1 (見る)を押す。

2 ←→で削除元([本体HDD]または[外付けHDD])を選び、決定を押す。

初期化された外付けHDDが接続されているときに必要な操作です。

3 ↑↓で削除したい番組を選び、(削除)を押す。



4 ←→で[はい]を選び、決定を押す。

ご注意

録画中の番組は削除できません。

複数の番組を選んで削除するには

1 録画番組リストで(オプション)を押す。

2 ↑↓で[選択削除]を選び、決定を押す。

3 削除したい番組を選び、決定を押す。
選んだ番組にはチェックマークが付きます。

4 [確定]を選び、決定を押す。

5 確認画面で[はい]を選び、決定を押す。

再生中の番組を削除するには

1 再生中に(削除)を押す。

2 ←→で[はい]を選び、決定を押す。

誤って消さないようにする

誤って録画した番組を削除しないよう、番組ごとにプロテクト(保護)の設定をします。

1 (見る)を押す。

2 ←→でプロテクトしたい番組の記録場所([本体HDD]または[外付けHDD])を選び、決定を押す。

初期化された外付けHDDが接続されているときに必要な操作です。

3 ↑↓でプロテクトしたい番組を選び、黄(黄)を押す。

番組が保護され、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

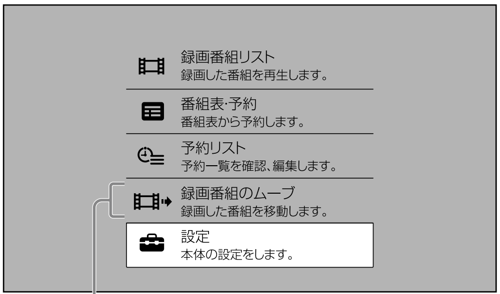
プロテクト設定した番組を選び、黄(黄)を押します。
番組から🔒が消えます。

本機の設定・調整をする

設定画面でチャンネルや画質、音質などのさまざまな設定ができます。

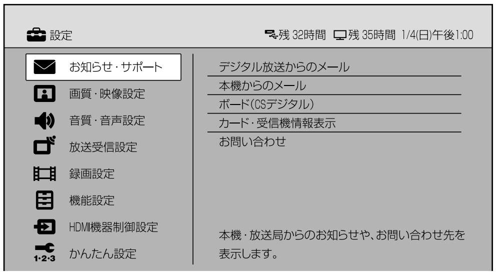
1 （ホーム）を押す。

2 ↑↓で（設定）を選ぶ。



外付けHDD接続時のみ表示

3 ↑↓で設定したい項目を選んで、（決定）を押す。



各設定項目の詳細については、右記の「設定カテゴリー一覧」に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー一覧

アイコン	説明
	お知らせ・サポート（☞33ページ） 本機や放送局からのメールやボード、お問い合わせ先などを確認できます。
	画質・映像設定（☞34ページ） 画質や映像に関わる設定ができます。
	音質・音声設定（☞40ページ） 音質や音声に関わる設定ができます。
	放送受信設定（☞42ページ） 地域設定やチャンネル設定など、放送を受信するために必要な設定ができます。
	録画設定（☞46ページ） 録画するために必要な設定ができます。
	機能設定（☞47ページ） 本機が対応しているさまざまな機能の設定ができます。
	HDMI機器制御設定（☞53ページ） HDMI機器制御に関わる設定ができます。
1·2·3	かんたん設定（☞53ページ） 放送を見るための初期設定ができます。

お知らせ・サポート

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのお知らせ(メール)を見ることができます。
本機からのメール	予約や録画、ムーブ、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード(CSデジタル)	110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
カード・受信機情報表示	B-CASカードや本機の情報を表示します。
お問い合わせ	お問い合わせ先を表示します。

画質・映像設定

画質

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	対応する画質モードがある入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント、HDMI1、HDMI2、HDMI3、PC
画質モード PC入力(HDMI入力含む)では、[スタンダード]のみ選択できます。	**ダイナミック**	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります。
	スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。
	カスタム	オリジナルの映像を、お好みに合わせて細かく調整します。
	ゲーム	ゲームに適した映像になります。 以下の入力画面で設定できます。 ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント、HDMI1、HDMI2、HDMI3
標準に戻す	**はい**	[はい]を選ぶと、[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	いいえ	
バックライト*	調整バーを左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
ピクチャー*	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
明るさ*	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。	

設定・調整をする

設定したいこと	項目	項目説明
色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。	
色あい	調整バーを左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。	
色温度*	高／中／低1 ／低2	高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。 [低1]と[低2]は[画質モード]で[ダイナミック]以外を選んだときに設定できます。
シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。	
ノイズリダクション	強／中／弱	ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減できます。
	切	ノイズ処理していないオリジナル映像信号に戻ります。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
MPEGノイズ リダクション	強／中／弱／切	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減できます。 ちょっと一言 MPEGノイズとは、DVDやハードディスクレコーダーに録画モードを長時間対応にして録画された映像などに出やすいノイズで、文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるモスキートノイズやモザイク状のひずみが出るブロックノイズがあります。
シネマドライブ	オート 切	[オート]を選ぶと、映画フィルム映像をより原画に忠実な映像に再現します。[オート]にしていて輪郭がギザギザして見えるときは[切]を選んでください。 ご注意 ゲームモードとプログレッシブ信号では機能しません。

＊ PC入力（HDMI入力含む）では、[バックライト]、[ピクチャー]、[明るさ]、[色温度]のみ調整できます。

次のページにつづく➡

設定したいこと	項目	項目説明	
詳細設定 [画質モード]で[ダイナミック]以外を選ぶと設定できます。	**標準に戻す**	**はい**	[はい]を選ぶと、[詳細設定]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
		いいえ	
	黒補正	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。
	アドバンスト C.E.	**強/中/弱/切**	映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。
	ガンマ補正	**最小、−2 ~標準~ +2、最大**	お好みに合わせて、映像の明暗のバランスを調整できます。
	クリアホワイト	**強/弱/切**	お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。
	ライブカラー	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、色の鮮やかさを強調できます。
	色温度調整	**標準に戻す**	[色温度調整]をお買い上げ時の設定に戻します。
		Rゲイン/ Gゲイン/ Bゲイン/ Rバイアス/ Gバイアス/ Bバイアス	色温度を色ごとに細かく調整します。

画面モード

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」（32ページ）をご覧ください。

放送や外部入力の設定項目（PC入力以外）

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	共通	PC入力以外のすべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント、HDMI1、HDMI2、HDMI3
ワイド切換	ワイドズーム／ノーマル／フル／ズーム／字幕入	お好みの画面モードに切り換えられます。［オートワイド］を［切］に設定しておくとお好みの画面モードに固定できます。 **ご注意** 番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。
オートワイド	入	［入］を選ぶと、画像を検出して最適な画面モードに自動で切り換えます。
	切	**ご注意** • 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。 • ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示させてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。 • オートワイド［入］のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。 • HDMIケーブルでつないだ機器の録画または出力の設定によっては、動作が異なることがあります。つないだ機器側の設定を確認してください。

次のページにつづく➡

設定したいこと	項目	項目説明
4:3映像*	ワイドズーム／ノーマル／切	[オートワイド]が[入]のときに4:3映像をどのように表示するか選べます。
表示領域*	＋1	オリジナルの映像領域が表示されます。
	標準	推奨の表示領域になります。
	－1 ／－2	オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。 画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合に設定してください。
画面位置調整*	縦	画面の位置を上下に調整できます。
	横	画面の位置を左右に調整できます。
縦サイズ*	画面のサイズを上下に調整できます。	

＊ 視聴している信号によっては設定できないことがあります。

パソコン画像の設定項目（PC入力／ HDMI入力）

設定したいこと	項目	項目説明
自動画調整*	はい いいえ	[はい]を選ぶと、入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるように調整します。 入力信号によっては、[自動画調整]により最適にならない場合があります。その場合は手動で[フェーズ]、[ピッチ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整してください。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、パソコン画像の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
フェーズ*	画像にチラツキがある場合に調整します。	
ピッチ*	画像に縦じまのノイズがある場合に調整します。	
水平位置	画像の水平位置を調整します。	
垂直位置	画像の垂直位置を調整します。	

設定したいこと	項目	項目説明
ワイド切換	ノーマル	オリジナルのサイズで表示します。
	フル1	オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。
	フル2	オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。

＊ パソコンをHDMIケーブルでつないだ場合は設定できません。

モーションフロー

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
モーションフロー（KDL-40EX52Hのみ）	入 切	［入］を選ぶと、スポーツなどの動きが速い映像の残像感を減らし、映画などの動きを滑らかにします。画面表示などがちらつく場合がありますが、故障ではありません。 **ご注意** • 画質モードが［ゲーム］に設定されているときは、モーションフローは［切］になります。 • オプションボタンからは設定できません。ホームボタンからのみ設定できます。

音質・音声設定

音質

操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	共通	すべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント、HDMI1、HDMI2、HDMI3、PC
音質モード	ダイナミック	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。
	スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどのコンテンツ向きです。
	クリアボイス	話しことばが聞き取りやすく、長時間聞いても耳にやさしい音質になります。
標準に戻す	はい	[はい]を選ぶと、[音質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	いいえ	
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。	
サラウンド	入	本機のスピーカーだけで、通常のステレオ放送や、5.1chサラウンドステレオ放送、つないだ機器の音声を臨場感のある立体的な音場で楽しむことができます。
	切	5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声(2ch)に変換して再現します。それ以外の音声はオリジナル音声をそのまま再現します。

設定したいこと	項目	項目説明
テレビスピーカー出力	入	本機のスピーカーから音声が出ます。
	切	本機のスピーカーから音声が出なくなります。
光音声出力	オート	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声は圧縮音声のまま出力されます。アナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。
	PCM	光デジタル音声出力に圧縮音声に対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声もアナログ録画機器からのアナログ音声も、PCM音声のデジタル信号に変換して出力されます。

放送受信設定

アンテナ設定

☞操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタル：アンテナレベル **BS：衛星アンテナレベル** **CS：衛星アンテナレベル** 受信中のチャンネルのアンテナレベルが確認できます。地上デジタルでは［伝送チャンネル］で、BS/CSでは［3桁チャンネル番号］で受信するチャンネルを切り換えて、チャンネルごとの受信レベルを確認できます。 ちょっと一言 アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信C/Nの換算値を表します。	**ビープ音**	アンテナの向きを調整するときにテレビ画面で確認できない場合には［入］にします。受信レベルが良いほど高い音、悪いほど低い音が出ます。［切］にすると音は消えます。
	伝送チャンネル（地上デジタルのみ）	受信チャンネルを表示します。受信チャンネルを選んで、切り換えられます。
	3桁チャンネル番号	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在受信中の放送	受信中の放送局名を表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。良好な放送受信には緑の受信レベルが望ましいです。
BS･CS：衛星アンテナ設定	**オート**	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。
	入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。［オート］の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは［入］を選びます。
	切	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは［切］を選びます。
地上アッテネーター	**入** **切**	電波の送信元付近の地域などで、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けるようなときは、［入］を選ぶと画面のノイズが軽減されます。

設定・調整をする

地上デジタル放送受信設定

☞操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル共通：地域設定（県域）	**都道府県名**	お住まいの地域に合った放送チャンネル（地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通）の情報を取得するために設定します。引越しなどでお住まいの地域が変わったときは、新たに都道府県を選び直し、同時に［地上デジタル：自動チャンネル設定］でチャンネルも設定し直してください。
デジタル共通：地域設定（郵便番号）	**郵便番号**	お住まいの地域独自の放送チャンネル（地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通）の情報を取得するために設定します。お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を選択ボックスの数字を変化させて選ぶか、1 ～ 10の数字ボタンで入力します。
地上デジタル：自動チャンネル設定	**初期スキャン**	設定してあるチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを自動で設定し直します。
	再スキャン	設定してあるチャンネルは変えずに、自動で受信可能チャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新したりします。
地上デジタル：プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**地上デジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－－－］を選びます。
地上デジタル：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。

次のページにつづく➡

BS･CSデジタル放送受信設定

☞操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
BS：プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**BSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－－－］を選びます。
［BS：プリセット登録］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
BS：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。
CS：プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**110度CSデジタルのチャンネル**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－－－］を選びます。
［CS：プリセット登録］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	リモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
CS：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。

放送受信詳細設定

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
自動チャンネル変更	する しない	[する]を選ぶと、放送局やチャンネルが増えたときや伝送チャンネルが変更されたときに自動で登録します。[しない]を選ぶと、自動では登録せず、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。
デジタル放送からのダウンロード	オート しない	[オート]を選ぶと、本機内部のソフトウェアを最新の状態に保つために、デジタル放送から自動でダウンロードします。
BS:地デジ難視対策衛星放送表示	入 切	[入]を選ぶと、地上デジタル放送局の番組をBS放送の番組表に表示します。

録画設定

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
チャプター	**6分毎**	[6分毎]を選ぶと、約6分間隔でチャプターを区切ります。
	切	
番組追跡録画	**入**	[入]を選ぶと、番組の放送時刻変更に合わせて録画をします(☞26ページ)。
	切	
自動削除	**入**	[入]を選ぶと、HDD空き容量が少ない場合に、自動的に古い録画から削除します。
	切	
録画時間	**番組終了/ 2時間/ 3時間/ 4時間**	デジタル放送視聴中に録画ボタンを押したときの録画時間を設定します。[番組終了]を選ぶと、見ている番組が終わるまで自動で録画できます。 **ちょっと一言** 番組終了まで残り3分以内に[番組終了]を選ぶと、次の番組が終わるまで録画します。

機能設定

省エネ設定

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
消費電力 消費電力量を抑えるように設定できます。	**標準**	お買い上げ時の設定です。
	減(明)	消費電力を抑えたいときに選びます。
	減(暗)	[減(明)]よりもさらに消費電力を抑えられます。
	減(消画)	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを楽しめます。画面を表示するには、電源スイッチ以外のボタンを押してください。 **ちょっと一言** 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]が[標準]に戻ります。
明るさセンサー	**入**	[入]を選ぶと、周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。[画質モード]と[消費電力]の設定によって、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。
	切	
無操作電源オフ	**切/ 1時間/ 2時間/ 4時間**	選んだ時間中に本機の操作(チャンネル切換や音量調節など)をしなかった場合に、自動で電源を切ります(電源スタンバイ)。[切]を選ぶと、電源は自動で切れません。
PCパワーマネジメント	**入**	[入]を選ぶと、PC入力のときに無信号を検出すると約30秒後に自動で電源が切れます(電源スタンバイ)。信号が入力されると自動で電源が入ります。 (HDMIケーブルでの接続は除く。)
	切	

次のページにつづく➡

視聴制限設定

☞操作方法は「本機の設定·調整をする」(32ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
暗証番号設定		[視聴年齢制限設定]を行うために暗証番号を設定します。 すでに暗証番号を設定してあるときは変更できます。設定してある暗証番号を入力してから新しい暗証番号を設定してください。 ちょっと一言 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。忘れてしまったときは、[個人情報初期化]を行い、一度削除することで新しく設定し直せます。その場合は、初期化される内容(☞50ページ)はすべて削除されるのでご注意ください。
視聴年齢制限設定		デジタル放送で推奨する視聴年齢がある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴／予約できないように設定できます。[暗証番号設定]で暗証番号を入力したあと、年齢を設定します。

タイマー

操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
オンタイマー	オンタイマー	見たい番組があるときや目覚まし時計がわりに、本機の電源を入れられます。 ［入］を選ぶと、設定した時刻に自動で電源が入ります。 **ご注意** • ［入］に設定したあとは、リモコンの電源スイッチで電源スタンバイ状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切らないでください。 • ［オンタイマー］を使うには、デジタル放送を受信している必要があります。 **ちょっと一言** ［オンタイマー］で本機の電源が入ったあと、無操作で1時間が経過すると自動で電源が切れます（電源スタンバイ）。操作した場合は、電源は切れません。
	曜日	以下から曜日を選びます。 毎日、毎週（月）～（金）、日、月、火、水、木、金、土、毎週（日）、毎週（月）、毎週（火）、毎週（水）、毎週（木）、毎週（金）、毎週（土）
	時刻	時刻を設定します。
	チャンネル	放送とチャンネルを選びます。
	音量	テレビスピーカーの音量を調節します。
スリープタイマー	120分／ 90分／ 60分／ 45分／ 30分／ 15分／切	自動で電源を切る（電源スタンバイ）までの時間を選びます。

次のページにつづく➡

表示設定

☞操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル放送:字幕	**日本語／英語／切**	字幕のある番組を視聴中に字幕の言語を切り換えたり、字幕を消したりできます。
デジタル放送:文字スーパー	**日本語／英語／切**	臨時ニュースなど、文字スーパーが送信されているときに文字スーパーの言語を切り換えたり、文字スーパーを消したりできます。

本体設定

☞操作方法は「本機の設定･調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
高速起動	**入／切**	リモコンで電源を切ってから2時間以内に電源を入れるとき、本機を早く起動できます。待機時消費電力が増えますのでご注意ください。
本体HDD初期化	HDDを初期化します。初期化すると録画した映像がすべて削除され、元に戻すことはできません。	
個人情報初期化	**削除する** **中止する**	［削除する］を選ぶと、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を削除できます。 **初期化される内容** • データ放送で登録した個人情報やポイントなど • 暗証番号･パスワードなどの登録情報 • 予約の情報 • メール • 放送設定の設定内容（地域設定など） • 接続サーバーの設定 • ネットワーク設定（IPアドレスなど） • 通信などによる各種証明書 • デジタル放送各種チャンネル設定 • 画質･音質などの設定 **ちょっと一言** 本機を廃棄、譲渡等するときは、本機内のHDD、メモリーに記録されているデータを削除することを強くおすすめします。

ネットワーク設定

操作方法は「本機の設定・調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
ネットワーク設定	**IPアドレス取得方法**	[DHCPを利用（DNS自動）]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。[DHCPを利用（DNS手動）]を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCPサーバー機能により、自動でDNSサーバー以外のネットワークの設定を割り当てます。DNSサーバーの設定は手動で行います。 [固定IPアドレスを指定]を選ぶと、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定に合わせて、手動でネットワークを設定する必要があります。	
	接続診断	ネットワークに正常に接続できるか診断します。	
	IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／DNSサーバー（プライマリ）／ DNSサーバー（セカンダリ）	[IPアドレス取得方法]で[固定IPアドレスを指定]を選んだときに、↑↓で数字を選ぶか、1 ～ 10の数字ボタンで入力します。[IPアドレス取得方法]で[DHCPを利用（DNS手動）]を選んだときも、[DNSサーバー（プライマリ）]と[DNSサーバー（セカンダリ）]を入力します。	
	MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。	
[ネットワーク設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**プロキシ設定**	**プロキシサーバー使用**	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは[する]に設定してください。
		プロキシサーバー	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。
		ポート（1 ～ 65535）	[プロキシサーバー使用]を[する]に設定したときに入力してください。

次のページにつづく➡

外付けHDD設定*

☞操作方法は「本機の設定・調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
外付けHDD初期化	外付けHDDを初期化します。
外付けHDD動作テスト	外付けHDDのパフォーマンスを確認します。（あくまでも目安で、録画を保証するものではありません。）
外付けHDD取り外し	外付けHDDの取り外しをします。

* 外付けHDDが接続されていない場合は表示されません。

HDMI機器制御設定

☞操作方法は「本機の設定·調整をする」（32ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
HDMI機器制御	**する** **しない**	HDMI1、2、3入力にHDMI機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にするかどうかを選びます。［する］を選ぶと、［テレビ→HDMI機器電源連動］と［HDMI機器→テレビ電源連動］の設定ができるようになります。 **ご注意** 有効にならない場合は、接続した機器側のHDMI設定も行ってください。
テレビ→HDMI機器電源連動	**する** **しない**	［する］を選ぶと、本機の電源を切るときにHDMI機器の電源も連動して切ります。
HDMI機器→テレビ電源連動	**する** **しない**	［する］を選ぶと、HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります。
HDMI機器一覧	HDMI入力につないだHDMI機器を一覧表示します。一覧表示されたオーディオシステム以外の機器は入力切換ボタンで選べるようになります。［機器認識］を選ぶと、つながれたHDMI機器を再認識します。	

かんたん設定

☞操作方法は「本機の設定·調整をする」（32ページ）をご覧ください。

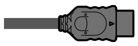
設定したいこと	項目説明
かんたん初期設定	地上·BS·110度CSデジタルの受信設定を、一連の流れでできます（☞15ページ）。

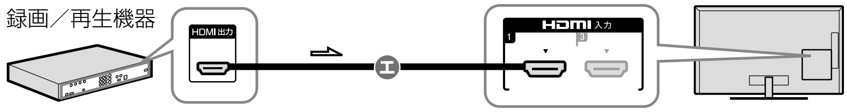
録画／再生機器をつなぐ

高画質

別売り

エ HDMIケーブル（1本）



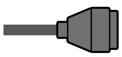


ご注意

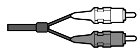
- ソニー製のHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
（推奨：DLC-HDシリーズ2011年1月現在）
- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものもありますのでご注意ください。
- HDMI機器電源連動に対応したオーディオ機器をつないだときは、光デジタル接続ケーブルで音声の接続もしてください（☞56ページ）。

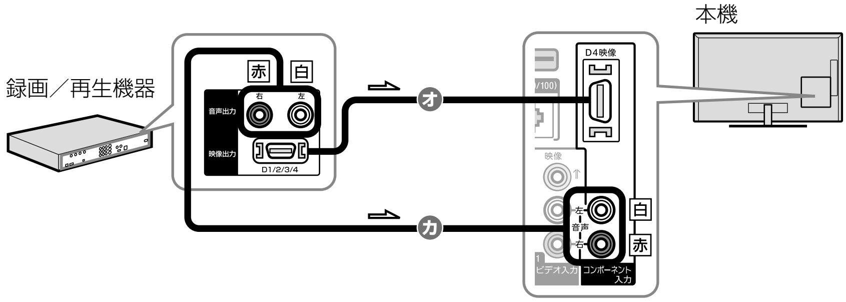
別売り

オ D映像ケーブル（1本）



カ 音声ケーブル（1本）



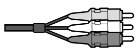


ちょっと一言

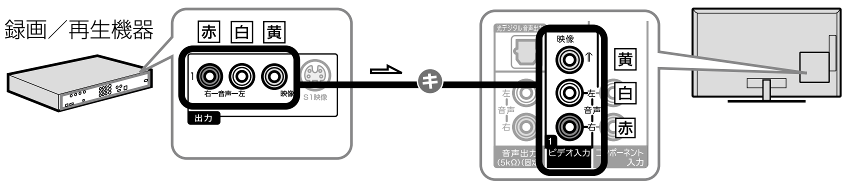
本機のD4映像入力端子はD1 ～ D4すべてに対応しています。

別売り

キ 映像・音声ケーブル（1本）

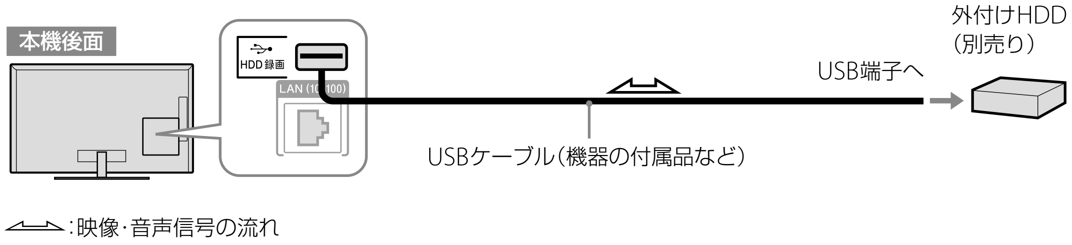


標準画質



⟹：映像・音声信号の流れ

外付けHDDをつなぐ



外付けHDDを初期化する

初期化されていない外付けHDDを接続すると、外付けHDD初期化画面が表示されます。◆◆で［はい］を選び、(決定)を押してください。初期化しないと外付けHDDに録画できません。
ホームボタンを押して、(設定) → (機能設定) → ［外付けHDD設定］ → ［外付けHDD初期化］を選び初期化することもできます。

ご注意

初期化すると録画した映像がすべて削除されます。

外付けHDDを取り外す

ホームボタンを押して、(設定) → (機能設定) → ［外付けHDD設定］ → ［外付けHDD取り外し］を行ってから取り外してください。

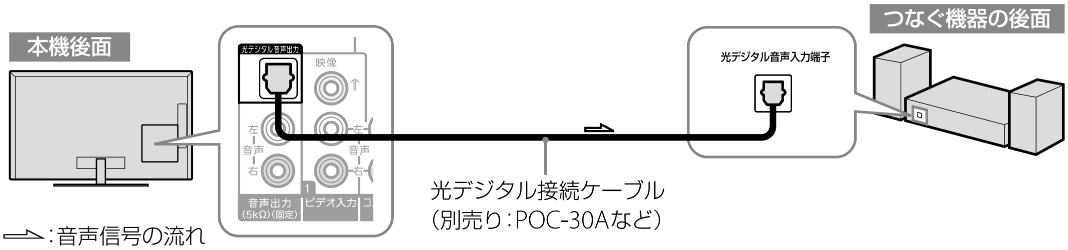
ご注意

外付けHDDに関する注意事項については、「外付けHDDをご使用時の注意事項」（☞93ページ）をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

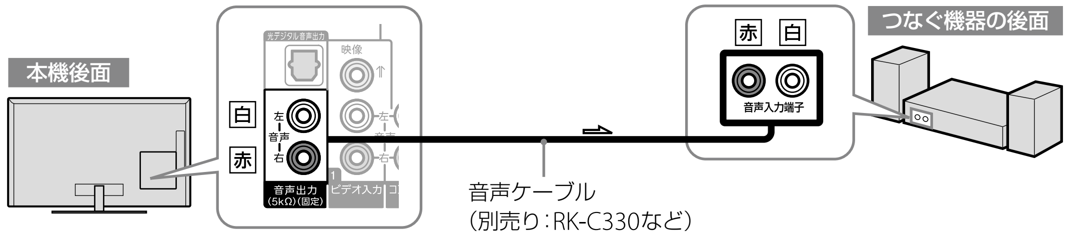
光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

光デジタル音声入力端子を持つAVアンプや、ホームシアター機器などをつなぎます。



⟶:音声信号の流れ

その他のオーディオ機器(2ch入力対応)をつなぐとき

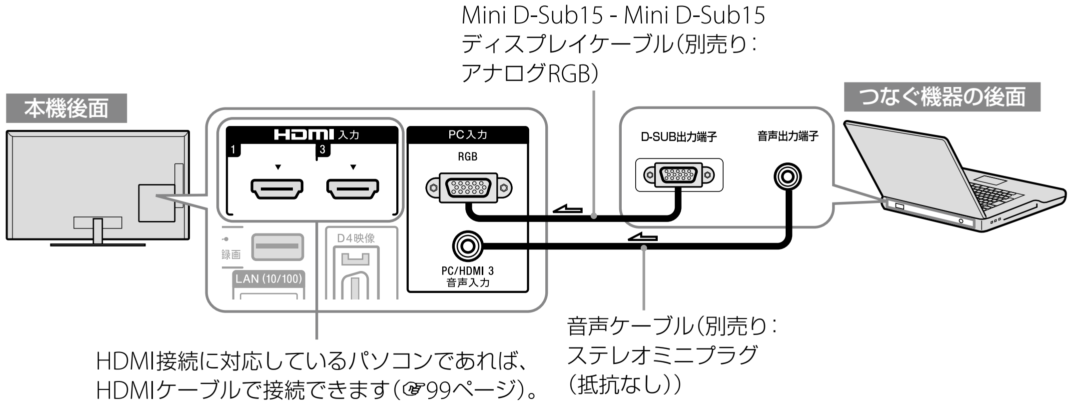


⟶:音声信号の流れ

ご注意

- HDMI機器電源連動に対応したオーディオ機器をつなぐときは、HDMIケーブル(☞54ページ)と光デジタル接続ケーブルの両方での接続が必要です。
- 光デジタル音声出力端子につなぐオーディオ機器が対応している音声信号に合わせて、[光音声出力](☞41ページ)を設定してください。

パソコンをつなぐ



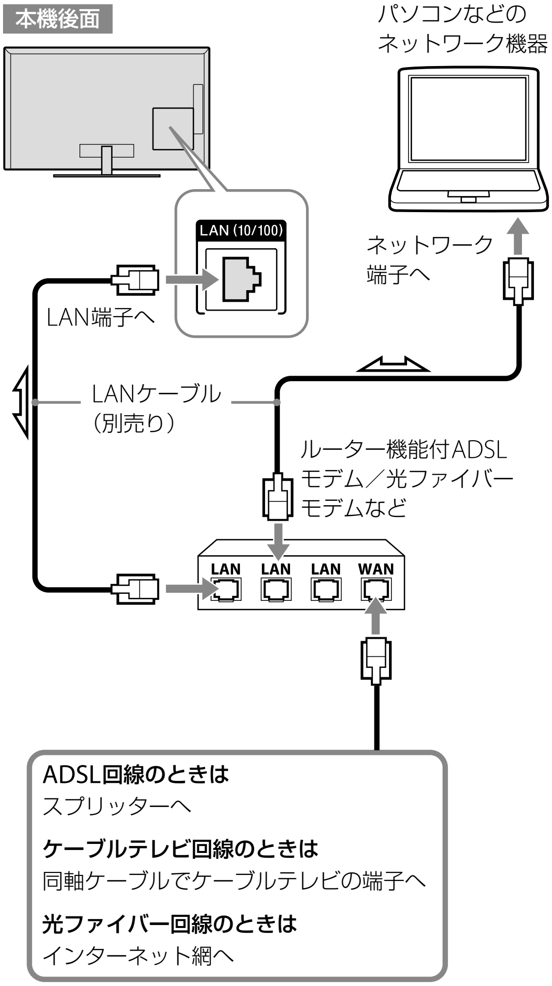
：映像・音声信号の流れ

ちょっと一言

- 対応信号については、☞79ページをご覧ください。
- パソコンの画像を見るための操作については「パソコンの画像を映す」（☞61ページ）をご覧ください。

LANケーブルをつなぐ

インターネット回線の状況に合わせてつないでください。



:信号の流れ

LANケーブルをお使いになるときは

- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-TタイプのLANケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

お使いのADSLモデム／光ファイバーモデムなどに、ルーター機能があるかどうかは、モデムなどに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、本機の動作のために、あらかじめモデムなどのルーター機能設定が有効になっている必要があります。詳しい設定方法はモデムなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機のネットワーク設定をする

ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号(IPアドレス)の設定などを、本機で行います。

DHCPを利用するときは

1 ホームメニューから(設定)→(機能設定)→[ネットワーク設定]の順に選んで、を押す。

2 ↑↓で[IPアドレス取得方法]を選んで、を押す。

3 ↑↓で[DHCPを利用(DNS自動)]または[DHCPを利用(DNS手動)]を選んで、を押す。

[DHCPを利用(DNS手動)]を選んだときは、[DNSサーバー(プライマリ)]と[DNSサーバー(セカンダリ)]を入力してください。入力のしかたについては、「固定IPアドレスを指定するときは」の手順3 ~ 6をご覧ください。

4 ↑→で[接続診断]を選んで、を押す。

5 ←→で[はい]を選んで、を押す。

接続診断が始まります。「正常です。正しく入力されています。」と表示されたら、戻るボタンをくり返し押して、設定を終了してください。

固定IPアドレスを指定するときは

1 「DHCPを利用するときは」(☞左記)の手順1 ~ 2を行う。

2 ↑↓で[固定IPアドレスを指定]を選んで、を押す。

3 ↑↓で手動入力する項目を選んで、を押す。

設定項目について詳しくは、☞60ページをご覧ください。

4 1 ~ 10の数字ボタンまたは↑↓で3桁の数値を入力する。

5 →で右の枠に移動する。

6 手順4、5をくり返して4つの枠に入力し、を押す。

7 他の項目を設定するときは、手順3 ~ 6をくり返す。

8 ↑→で[接続診断]を選んで、を押す。

9 ←→で[はい]を選んで、を押す。

接続診断が始まります。「正常です。正しく入力されています。」と表示されたら、戻るボタンをくり返し押して、設定を終了してください。

次のページにつづく→

設定項目

項目	説明
IPアドレス	ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号です。通常は3桁の数字4組を点で区切った形になっています。 例:169.254.xxx.xxx 「xxx」は0 ～ 255の任意の数字を入力します。
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、ネットワークに接続する機器に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。 例:255.255.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	IPアドレスの取得方法が[固定IPアドレスを指定]の場合で、インターネットに接続しないときは、本機のIPアドレスを指定してください。 例:169.254.xxx.xxx
DNSサーバー(プライマリ)／DNSサーバー(セカンダリ)	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、IPアドレスで特定されています。 例:169.254.xxx.xxx
MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。入力はできません。

ちょっと一言

「DNSサーバーが応答しません。」と表示された場合は、「故障かな?と思ったら」(☞69ページ)をご覧になり、接続と設定を確認してください。

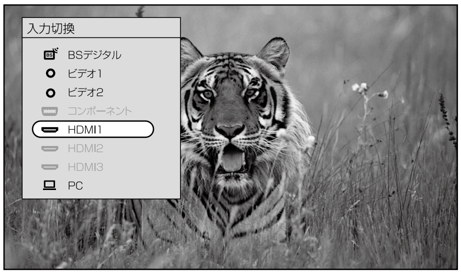
他機器を接続・操作する

つないだ機器の映像を見る

あらかじめ接続をしてください(☞54ページ)。

1 入力切換を押す。

2 入力切換をくり返し押して、入力を選ぶ。



ちょっと一言

HDMI1、2、3入力端子につないだ機器がHDMI機器電源連動に対応している場合は、本機とHDMI機器の電源が連動して入／切するように設定できます。(「テレビ→HDMI機器電源連動」、「HDMI機器→テレビ電源連動」(☞53ページ))

パソコンの画像を映す

パソコンを接続してください(☞57ページ)。
対応入力信号については(☞79ページ)。

1 入力切換を押す。

2 入力切換をくり返し押して、(PC)または(HDMI)を選ぶ。



(PC)	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります。
(HDMI)	HDMI1、2、3入力につないだパソコンの画像に切り換わります。

ちょっと一言

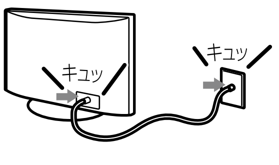
パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

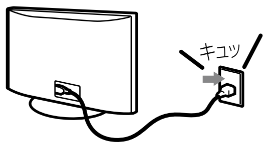
まず確認してください

アンテナ線（VHF/UHF用同軸アンテナケーブル）をしっかりつなぐ。

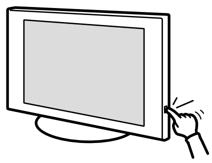


- ゆるんだり、抜けたりしていないか。
- 芯線が曲がっていないか（☞13ページ）。

電源コードをしっかりつなぐ。

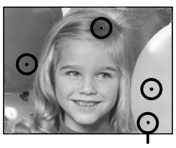


電源スイッチを入れる。



こんな場合は故障ではありません

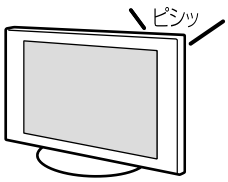
画面に光る点、または光らない点がある。



輝点・滅点

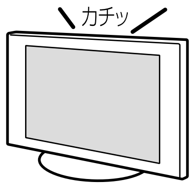
液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。



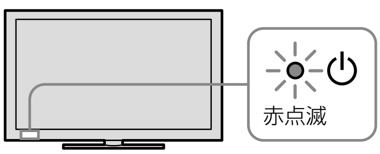
電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。



電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。
また電源スタンバイ時は、データ受信やソフトウェアの書き換えのために本機の電源が自動的に入り、音がすることがあります。本機前面の⊠ ⏻ランプがオレンジ色に点滅しますが、故障ではありません。

自己診断表示機能が働いています



画面が消え、本機前面の⏻ランプが赤色に点滅する。
本機に何らかの異常が起きています。⏻ランプの点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口にお問い合わせください。

映像

全般

症状	対処のしかた	参照ページ
本機の**電源が突然切れた**／いつのまにか消えていた。	● [無操作電源オフ]を設定していると自動的に電源が切れます。	47
	● [オンタイマー]を利用して電源を入れた場合、無操作で1時間を経過すると電源が切れます。	49
本機の**電源が勝手に入ってしまう。**	● [HDMI機器制御設定]の[HDMI機器→テレビ電源連動]を[しない]に設定してください。	53
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● (画質・映像設定)をお好みに合わせて調整してください。	34
	● [消費電力]を確認してください。[減(明)]または[減(暗)]に設定されていると画面が暗くなります。	47
	● ご覧になる角度(視野角)が影響している場合があります。 画面の角度を前後に調節(チルト)するなど、画面を正面から見られるよう設置調整してください(KDL-22EX42Hのみ)。	12
音声は出るが**画像が出ない。**	● [消費電力]を確認してください。[減(消画)]に設定されていると画像は出ません。 このときは本機前面の⊠ ⏻ランプが緑色に点灯します。	47
画像が**乱れる。**	● 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。	
	● 画像の輪郭が乱れる場合は[シネマドライブ]を[切]にしてください。	35
	● HDDの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	
画面サイズが勝手に切り換わる。映像が上下に動く。	● [オートワイド]が[入]に設定されていると映像に適した画面サイズを自動的に判断します(お買い上げ時は[入]に設定されています)。気になるときは[オートワイド]を[切]にしてください。	37
チャンネルが映らない。	● チャンネルを再度設定してください。	43、44
チャンネル＋／－ボタンで選局できない。	● チャンネル登録で、チャンネル＋／－ボタンで選局できるチャンネルを設定してください。	43、44
アナログ放送が受信できない。	● 本機はアナログ放送には対応していません。	

困ったときは

次のページにつづく➡

地上デジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
地上デジタルが受信できない／地上デジタルの画像が乱れる。	● お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。	
	● 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。	
	● アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	42
	● ブースターのレベルを下げてみてください。信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。	
	● アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ(CATV)を受信しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社によって、再送信の方式が異なります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。	13
	● 有料放送を見るには視聴契約してください。	
	● お住まいの地域によって放送が異なります。必ず、チャンネルスキャンの前に[デジタル共通:地域設定(県域)]を設定してください。	43
	● [地上デジタル:自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]してください。	43
	● 電波が強すぎたり、弱すぎる場合があります。[地上アッテネーター]を[入]または[切]に切り換えてください。	42

BS/110度CSデジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
BSデジタル･110度CSデジタルが **受信できない。**	● 電源コードを抜き、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。	
	● BS･110度CSデジタルに対応したアンテナおよび同軸ケーブルにつないでください。	13
	● アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS･110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。	
	● BSアナログチューナー内蔵の録画機器からアンテナ接続ケーブルをつなぐと受信できません。分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵録画機器にそれぞれつないでください。	
	● 衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。	
	● ［BS･CS：衛星アンテナ設定］を［オート］または［入］に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は［切］に設定してください。	42
	● 衛星アンテナレベルを確認しながら衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	42
	● 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約（加入申し込み）をしてください。	
BSデジタル･110度CSデジタルの**画像が乱れる。** 	● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。	
	● 降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。	72

接続機器

症状	対処のしかた	参照ページ
つないだ機器の**画像が出ない。**	● つないだ機器の電源が入っているか確認してください。	
	● 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	54、55、57
	● 本体またはリモコンの入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。	61

次のページにつづく➡

症状	対処のしかた	参照ページ
入力切換で、つないだ機器が選べない、入力を切り換えられない。	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	54、57
録画･再生中ではないのに、外付けHDDの**動作音がする。**	• 番組表情報を取得するときに、外付けHDDが回転します。	
「過電流を検出しました」と表示される。	• 本機の電源を切り、一度外付けHDD（USB機器）を取り外して、再度接続してください。	55

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
画像は出るが、**音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。	
	• 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押して表示を消してください。	97
	• ［テレビスピーカー出力］を［入］にしてください。［切］に設定されていると、本機からは音は出ません。	41
	• ヘッドホンを抜いてください。	99
聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。	97
音声が出ない／音声が**おかしい。**	• ［サラウンド］を［切］に設定してください。番組によっては、サラウンド音声にしていると音が聞こえにくかったり、聞こえなくなることがあります。	40
	• HDMI入力端子につないだ機器を再生しているとき、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。	
	• 一時停止になっていないか確認してください。	29
	• 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。	29

録画・予約・ムーブ

症状	対処のしかた	参照ページ
録画予約した番組が録画されない。	● 本体の電源スイッチで電源を切ると、録画されません。録画予約後は、リモコンの電源スイッチで電源を切ってください。	20
	● 番組の変更に合わせて録画するには、［番組追跡録画］を［入］に設定してください。録画予約した番組の開始時刻が変わったとき［切］に設定されていると、正しく録画されません。	46
見ている映像が録画されない。	● 録画は予約録画が優先されます。予約録画と重なっていないか確認してください。外付けHDDを接続していなくても、外付けHDDへの予約録画と重なっているときは録画できません。	
録画中に［録画停止］を選んでもすぐに録画が**止まらない。**	● 録画が止まる前にHDDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	
画像は出ているが、**録画されない。**	● 電波が強すぎたり、弱すぎる場合は録画されないことがあります。［地上アッテネーター］を［入］または［切］に切り換えてください。	42
予約したのに**録画されていない。**	● 本機からのメールを確認してください。	
	● 録画中に停電がありませんでしたか？	
	● 1時間以上の停電があり、時計が止まっていなかったか確認してください。	
	● コピー制御信号が含まれている映像を録画、または録画予約していないか確認してください。	
	● 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。	26
	● HDDの残量が足りているか確認してください。	
	● 録画した映像の数が上限（300個）に達していると録画できません。	
	● 視聴年齢制限を超えた番組か確認してください。	48
	● 有料番組か確認してください。	
	● B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。	
	● 外付けHDDに番組を録画する場合は、初期化が必要です。ホームメニューから[外付けHDD初期化]を行うか、または、USBケーブルを再度差し込み、自動的に起動する[外付けHDD初期化]を行ってください。	55

次のページにつづく➡

症状	対処のしかた	参照ページ
予約した内容が**途中で切れている。**	• 本機からのメールを確認してください。	
	• 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。	26
	• 番組の中断がなかったか確認してください。	
	• コピー制御信号が含まれている映像が途中から始まらなかったか確認してください。	
	• HDDの残量が足りているか確認してください。	
	• 録画中に停電がありませんでしたか？	
	• 録画終了時刻から開始する別の録画予約がなかったか確認してください。	
	• 受信状態が悪かった場合、途切れます。	
ムーブができない。	• ムーブ時間が予約録画時間と重複すると、ムーブは実行されません。	30
ムーブが失敗する。	• 本機からのメールを確認してください。	
	• ムーブ中に予約録画の開始時間になると、ムーブはキャンセルされます。	30
	• ムーブ中に本体の電源ボタンで主電源を切ると、ムーブはキャンセルされます。	30
	• ムーブ中に電源コードを抜いたりUSBケーブルを抜くと、録画された番組が消滅する場合があります。	30
	• 本機に振動を与えたり、使用中に電源コードを抜いたりしたときは、録画された番組がムーブできない場合があります。	30
以前録画した内容がなくなっている。	• 更新録画が設定されているか確認してください。	26
	• [自動削除]が[入]に設定されていると、HDDの空き容量が少ない場合に、録画された映像が自動的に削除されます。	46
	• ムーブ中に電源コードを抜いたりUSBケーブルを抜くと、録画された番組が消滅する場合があります。	30
	• 録画･再生中に電源コードを抜いたりUSBケーブルを抜くと、録画された番組が消滅する場合があります。	

ご注意

HDDに関する注意事項については、☞93ページもご覧ください。

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
最初から**始まらない。**	● つづき再生になっていないか確認してください。映像選択時に、オプションから[頭出し]を選んでください。	29
追いかけ再生できない。	● アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。	
	● 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。	

ネットワーク

症状	対処のしかた	参照ページ
ネットワークにつながらない。	● LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	58
	● ネットワーク設定で[IPアドレス取得方法]を[DHCPを利用(DNS自動)]または[DHCPを利用(DNS手動)]に設定している場合、DHCPサーバーが存在しないと機器の認識に時間がかかる場合があります。[接続診断]をしてください。また、[接続診断]の結果で「DNSサーバーが応答しません」と表示されるときは、接続と設定もあわせて確認してください。	51、58、59

次のページにつづく➡

その他

ランプの点滅

症状	対処のしかた	参照ページ
⊠ ⏲**ランプ**がオレンジ色に点滅する。	• 本機が自動的にソフトウェアの書き換えをしています。異常ではありません。 書き換えには10分前後かかります。書き換え中は本機を操作できないことがあります。	14
⏻**ランプ**が赤色に点滅する。	• 本機に何らかの異常が起きています。点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口にお問い合わせください。	62

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンで**本機を操作できない。**	• 電池を交換してください。	15
	• 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。	15
	• ⏻ランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。	15
	• リモコン先端部を手などで覆わないようにして操作してください。	
	• 本機のリモコン受光部の前には物を置かないようにしてください。	95
リモコンの 1 ～ 12/選局 の**数字ボタン**を押しても、チャンネルが選べない。	• 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）のボタンを押してください。	16
	• チャンネル番号を直接入力する場合は、10キーボタンを押したあとに数字ボタンを押してください。最後に 12/選局 ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。	16

困ったときは

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表に表示される**番組が少ない。**	● お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらく視聴すると表示されます。	
	● 番組表が表示されているときに、←→で番組情報が出ていないチャンネルを選び、決定ボタンを押してください。選んだチャンネルの番組情報を取得し直します。	17
番組表に表示される**チャンネルが少ない。**	● 番組表が表示されているときに、オプションから[チャンネル表示形式]を選んで[すべて表示]に設定してください。	17

有料放送

症状	対処のしかた	参照ページ
有料放送が視聴できない。	● 視聴契約してください。	

画面表示

症状	対処のしかた	参照ページ
表示されない設定項目がある。	● 受信している放送や設定･調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	
地上デジタルの**放送局のマーク**が表示されない。	● 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	

次のページにつづく➡

エラーメッセージ

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを入れてください。		● B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	12
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード:××××	● B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。	12
		● B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。	12
		● B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。	12
このB-CASカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード:××××	● 選局した番組は未契約のため視聴できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでお問い合わせください。	
本機では、このサービスには対応していません。	E210	● 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
降雨対応放送に切り換わりました。	E201	● 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。天候が回復次第、元の状態に戻ります。	
受信できません。以下の操作で受信できる場合があります:ケーブルをつなぎ直す/アンテナ再調整/「地上デジタル:自動チャンネル設定」を行う。	E202	● 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合や受信できないチャンネルが設定されている場合があります。	
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 大雨·大雪が影響している場合もあります。	E202	● 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。	

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
このチャンネルは現在休止中です。	E203	● 放送を休止しているチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。	
該当するチャンネルはありません。	E204	● 放送のないチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。	
チャンネルが設定されていません。		● チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。	43、44
この信号には対応していません。入力する信号を変更してください。		● パソコンまたはHDMIの入力信号が未対応の信号です。	
前回電源を正常に切ることができませんでした。本体HDDを再認識中です。電源を切らないでください。		● メッセージが表示されている間は、電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。	
前回電源を正常に切ることができませんでした。外付けHDDを再認識中です。電源を切ったりUSBケーブルを抜かないでください。		● メッセージが表示されている間は、電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。また、USBケーブルも抜いたりしないでください。	
本体HDDにアクセスできません。ホームの「設定」から「本体HDD初期化」を行ってください。それでもアクセスできない時は使い方相談窓口にご連絡ください。		● メッセージに従ってください。	
外付けHDDにアクセスできません。ホームの「設定」から「外付けHDD初期化」を行ってください。それでもアクセスできない時は使い方相談窓口にご連絡ください。		● メッセージに従ってください。	

別売りアクセサリーを取り付ける

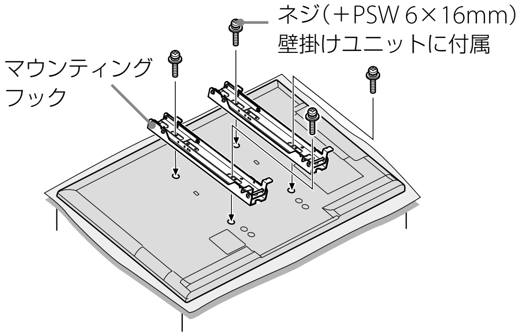
本機は以下の別売アクセサリーに対応しています(2011年1月現在)。

- 壁掛けユニット
  SU-WL500:KDL-40EX52H/32EX42H
  SU-WL100:KDL-22EX42H
- フロアスタンド
  SU-FL71M:KDL-40EX52H/32EX42H
  SU-FL71L:KDL-40EX52H

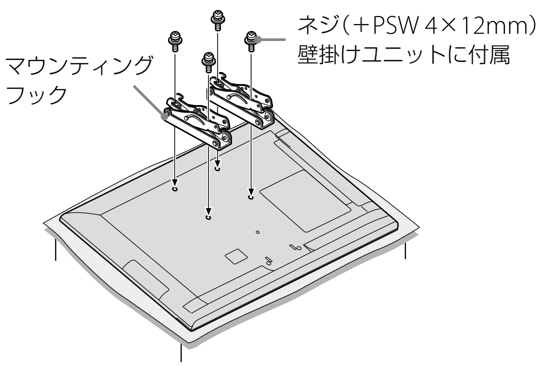
壁掛けユニットは確実な取り付けが必要です。必ず専門業者に取り付けを依頼してください。本書とともにお使いの別売アクセサリーの取扱説明書をよくお読みのうえ、確実な取り付けを行ってください。

壁掛けユニット(SU-WL500/SU-WL100)を使う

KDL-40EX52H/32EX42H(SU-WL500)



KDL-22EX42H(SU-WL100)

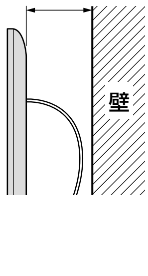


下記もご覧ください。

- 壁掛けユニットの取扱説明書
- 「テレビ取り付け寸法表」(☞75ページ)
- 「スタンドを取りはずす」(☞11ページ)

ご注意

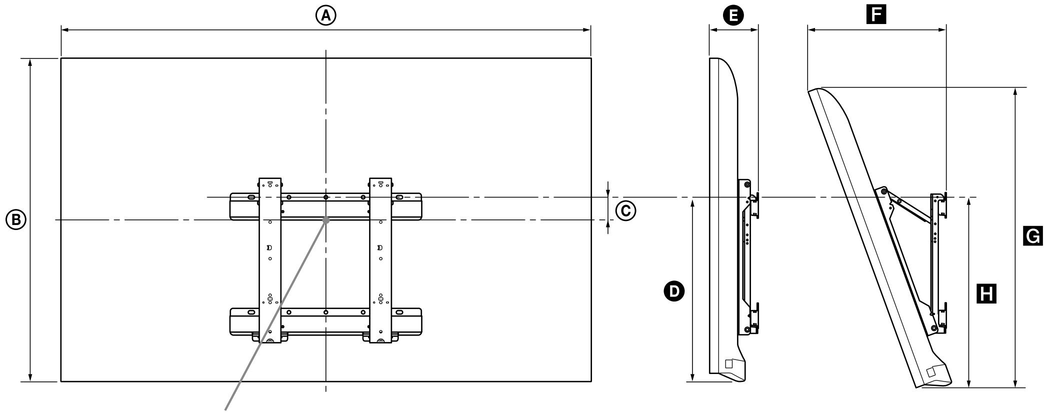
壁掛けユニット使用時に、テレビ後面と壁の間の距離は約6cmになります。接続できるケーブルをご使用ください。



その他

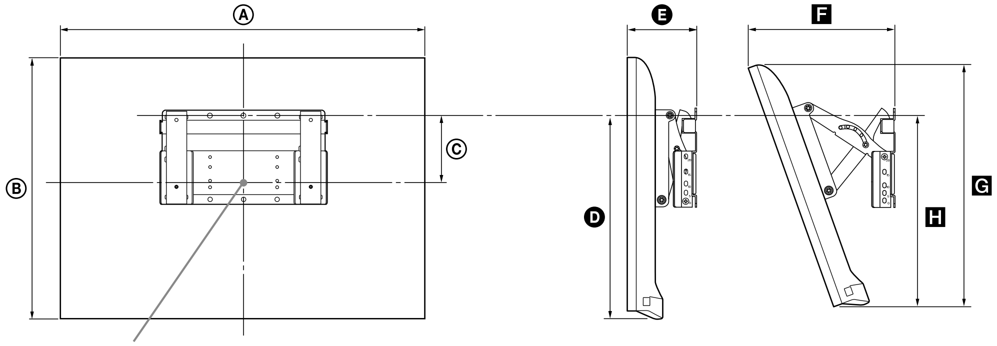
テレビ取り付け寸法表

SU-WL500



テレビを取り付けたときの画面の中心位置

SU-WL100



テレビを取り付けたときの画面の中心位置

単位：mm

テレビ型名	テレビ寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	D	E	F	G	H
KDL-40EX52H	943	589	137	446	99	275	549	455
KDL-32EX42H	755	485	161	418	98	248	450	428
KDL-22EX42H	529	347	108	295	96	185	319	277

取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

⚠警告

取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。
テレビの質量は☞79ページをご覧ください。

次のページにつづく➡

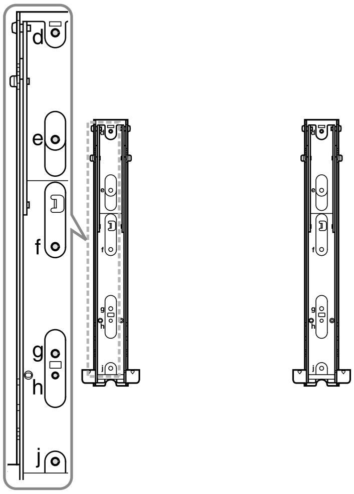
ネジ・フック位置一覧表

テレビ型名	ネジ位置	フック位置
KDL-40EX52H	d、g	b
KDL-32EX42H	e、g	c
KDL-22EX42H	—	b

ネジ位置

マウンティングフックをテレビに取り付ける場合

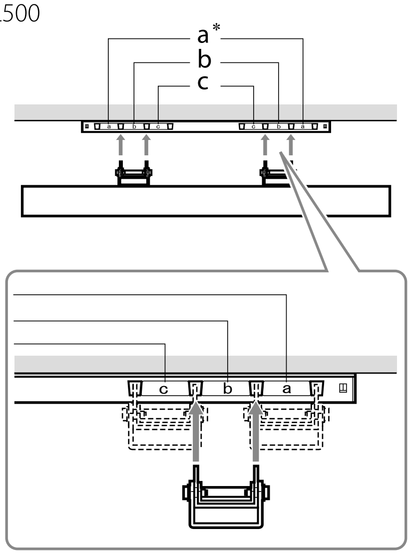
SU-WL500



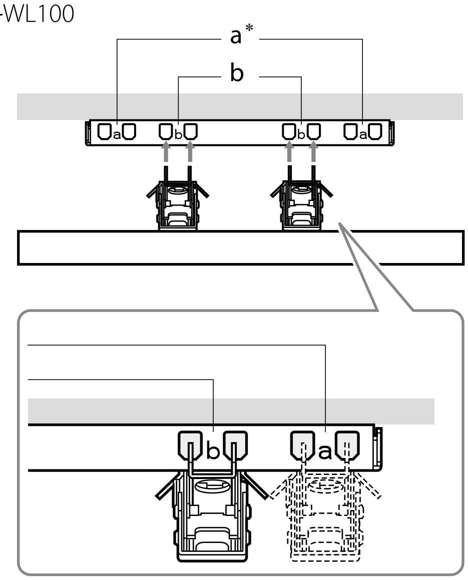
フック位置

テレビをベースブラケットに取り付ける場合

SU-WL500



SU-WL100



* 上記のテレビ型名表に記載されている機種では、aのフック位置は使用しません。

フロアスタンドを使う

本機との設置について

別売アクセサリーの取扱説明書にある設置手順に対応して本機では以下の作業が必要です。本書とあわせてアクセサリーの取扱説明書もご覧ください。

はじめにフロアスタンドに付属の取扱説明書の「1 フロアスタンドを組み立てる」をご覧になり、フロアスタンドを組み立ててください。
組み立て後、「2 テレビの取り付け準備をする」のかわりに、次の手順を行ってください。

1 必要に応じてテレビに付属のスタンドをはずす。

スタンドのはずしかたは☞本書の11ページをご覧ください。

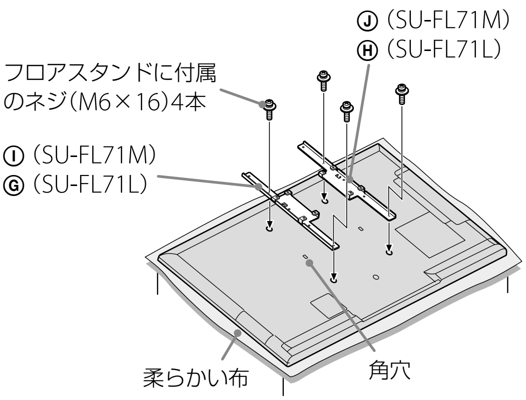
ご注意

テレビに付属のスタンドに戻す場合は、必ず保管したネジを元の場所に取り付けてください。

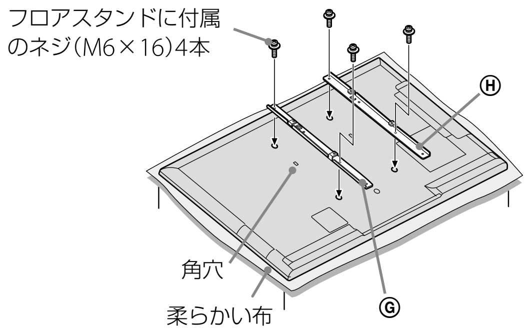
2 ブラケットをテレビに取り付ける。

フロアスタンドに付属のネジ(M6×16)4本で固定します。

KDL-40EX52H



KDL-32EX42H

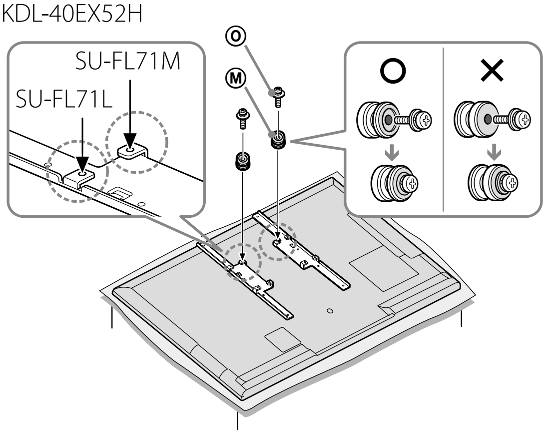


ご注意

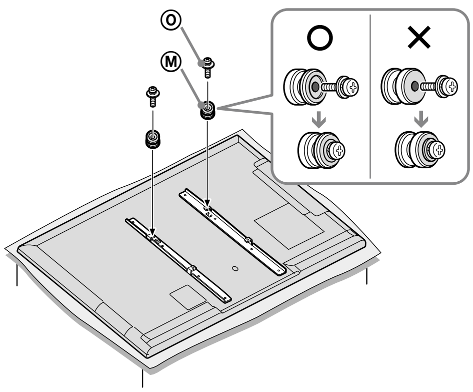
角穴が中央より上部になるように、左右を正しく置いてください。

3 フックⓂをブラケットに取り付ける。

KDL-40EX52H



KDL-32EX42H



引き続きフロアスタンドの取扱説明書をご覧になり、テレビをフロアスタンドに取り付けてください(3 ～ 5)。

主な仕様

システム	形式	ハードディスク内蔵液晶テレビ	
	受信方式	地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式	
	受信チャンネル	地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタル（テレビ･ラジオ･独立データ）の各チャンネル	
	BSデジタル･110度CS デジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz	
	BSデジタル･110度CS デジタル対応ローカル 周波数	10.678GHz	
	映像圧縮方式	MPEG-2	
	音声圧縮方式	MPEG-2 AAC	
	使用スピーカー	40EX52H： フルレンジ 3.0×15.0cm楕円型（2）	32EX42H/22EX42H： フルレンジ 3.0×10.0cm楕円型（2）
	音声出力（実用最大出力）	40EX52H/32EX42H：10W＋10W	22EX42H：3W＋3W
入出力端子	アンテナ端子	UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W、 芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）	
	ビデオ1、2入力端子	映像：ピンジャック 音声：ピンジャック、2チャンネル	
	コンポーネント入力端子	D4映像：D端子 音声：ピンジャック、2チャンネル	
	HDMI1 ～ 3入力端子	映像：デジタルRGB/Y C_B（P_B） C_R（P_R） 音声：PCM（32/44.1/48kHz） （アナログ）音声（HDMI3入力のみ）：PC音声入力端子を兼用	
	音声出力（固定）端子	2ch出力、ピンジャック	
	ヘッドホン端子	ステレオミニジャック	
	光デジタル音声出力端子	角型端子、PCM（48kHz）、MPEG2 AAC（デジタル放送）	
	LAN（10/100）端子	10BASE-T/100BASE-TXコネクター（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）	
	PC入力端子	RGB映像：Mini D-Sub15ピン 音声：ステレオミニジャック	
	USB端子	Hi-Speed USB HDD録画端子	

	型名	KDL-40EX52H	KDL-32EX42H	KDL-22EX42H
電源部、その他	使用温度	5℃～35℃		
	消費電力	116W	85W	46W
	消費電力（待機時）	0.3W（リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く）、21W（高速起動「入」時）	0.3W（リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く）、17W（高速起動「入」時）	
	年間消費電力量（スタンダード時）	125kWh/年	84kWh/年	64kWh/年
	区分名	DG2	DN2	DK2
	受信機型サイズ*	40V	32V	22V
	パネル解像度	1920×1080×3（RGB）（ドット：水平×垂直）	1366×768×3（RGB）（ドット：水平×垂直）	
	有効画面サイズ（幅・高さ・対角）	88.6・49.8・101.6cm	69.8・39.2・80.0cm	47.7・26.8・54.8cm
	視野角（左右/上下）	176/176度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）		170/160度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）
	最大外形寸法（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）	94.3×58.9×4.2cm 94.3×60.7×25.4cm（スタンド含む）	75.5×48.5×4.2cm 75.5×50.1×22.5cm（スタンド含む）	52.9×34.7×4.2cm 52.9×36.2×17.2cm（スタンド含む）
	HDD容量	500ギガバイト		
	質量	12.3kg 14.9kg（スタンド含む）	8.6kg 11.0kg（スタンド含む）	4.8kg 6.0kg（スタンド含む）
	電源	AC100V、50/60Hz		

* 受信機型サイズ（40Vなど）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

PC入力対応信号表

解像度		水平周波数[kHz]／垂直周波数[Hz]	VESA規格
	水平[pixel]／垂直[line]		
VGA	640/480	31.5/60	○
SVGA	800/600	37.9/60	○
XGA	1024/768	48.4/60	○
WXGA	1280/768	47.4/60	○
	1280/768	47.8/60	○
	1360/768	47.7/60	○
SXGA*	1280/1024	64/60	×
1080p*	1920/1080	67.5/60	×

* KDL-40EX52Hのみ対応しています。

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

次のページにつづく➡

区分名と年間消費電力量について

- 区分名
  「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称を言います。
- 年間消費電力量
  省エネ法に基づいて、一般家庭での１日の平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。(KDL-22EX42Hは除く)
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- AdobeはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
-
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

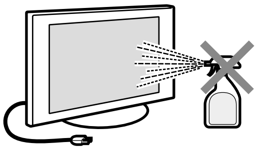
HDMI

NetFront® ACCESS™

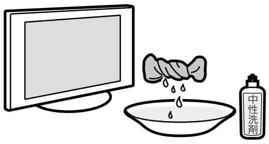
長くお使いいただくためのお手入れ方法

液晶画面には、反射による映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つける原因にもなりますので、次のことを必ずお守りください。

液晶画面、外装のお手入れについて

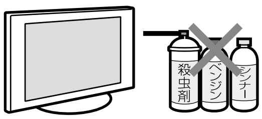


- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。



中性洗剤を水で薄める。
固く絞る。

- 画面や外装の汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 万一、油性マジックなどが付着してしまった場合は、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください(強くこすると、液晶表面に傷がつきます)。
- クレンザーのような研磨剤が入った洗剤は使わないでください。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。



揮発性のもの(殺虫剤、シンナー、ベンジンなど)は使用しないでください。

- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、シンナーやベンジンなどは使ったりしないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどを使うときは、その販売会社に確認してください。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

この度は弊社製品 (以下「本製品」) をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェアに関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書及び本冊子の次のページ以降に記載されております各「お知らせ」をご確認ください。

なお、下記のソフトウェア使用許諾契約書と、各「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先致します。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様 (以下「使用者」とします) と弊社 (以下「ソニー」とします) との間における許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条 (総則)

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条 (使用権)

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 前項に定める使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、使用者は許諾ソフトウェアを営利目的に用いてはならないものとします。

第3条 (許諾条件)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部又は全部を複製、複写若しくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアを日本国外に輸出又は移送してはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアを使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
7. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切 (全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書及び本契約文書を含みます) を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェア及び前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することができるものとします。尚、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー及びソニーが許諾ソフトウェアに含まれるソフトウェアの使用、再許諾を許諾された原権利者 (以下「原権利者」といいます) に帰属するものとし、使用者は、許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条 (無保証)

許諾ソフトウェアの使用は、使用者の責任で行っていただくものとします。許諾ソフトウェアは現状有姿でソニーから使用者に対して提供されるものとし、ソニー及び原権利者は使用者に対して、エラー･バグ等の不具合がないこと、中断なく稼動すること、有用であること、使用者のご利用目的に合致していること等を含め、許諾ソフトウェアに関し明示であると黙示であるとを問わず何らの保証も行わないものとします。

第6条 (ソニー及び原権利者の免責)

許諾ソフトウェア (全ての構成部分、媒体、電子文書、マニュアルなどの関連書類を含みます) に関連して使用者又は第三者に生じた損害に対して、ソニー及び原権利者が負うべき責任の範囲は、許諾ソフトウェアの使用権取得に際して使用者が負担された金額を超えないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第7条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じた場合、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第8条 (許諾ソフトウェアのアップデート)

使用者は、許諾ソフトウェアの機能の向上、エラーの修正等の目的のため、ソニー、原権利者、放送事業者又はそれらが委託した第三者が、インターネット、放送、外部機器等を利用して、許諾ソフトウェアを適宜アップデートすること、及びアップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約の各条件が適用されることに同意するものとします。

第9条 (契約解除)

1. ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由が生じた場合、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
   (1) 本契約に定める条項に違反したとき
   (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき
2. 本契約解除後といえども、第1条、第4条乃至第7条、第10条および第11条の規定は、有効に存続するものとします。

第10条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は、直ちに許諾ソフトウェアの使用を中止し、許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェアを廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第11条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約の準拠法は、日本国の法律とします。
3. 本契約に定めなき事項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー及び使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

以　上

次のページにつづく➡

ソフトウェアに関するお知らせ

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

Linux Kernel
Busybox
CE Linux Tools
binutils
gcc
gdb
gdb-host
gdbserver
mtd-utils
glibc
jfs-utils
e2fsprogs
smartmontools

これらのソースコードは、Web でご提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURL にアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
    a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
    b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
    c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
    a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
    b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost

of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of

次のページにつづく ➡

author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
    a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

次のページにつづく ➡

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。

以上

ACCESSブラウザにおける第三者ソフトに関するお知らせ

ijgjpeg

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group"

camellia

camellia.h ver 1.2.0
camellia.c ver 1.2.0
Copyright (c) 2006,2007
NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation).
All rights reserved.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以上

FreeType2に関するお知らせ

This software is based in part of the work of the FreeType Team.

以上

モリサワフォントに関するお知らせ

本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

以上

OpenSSL ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL (「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む)」が搭載されております。当該 ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

= OpenSSL License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

= Original SSLeay License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word "cryptographic" can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以上

YAMON™; SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")

IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. **DEFINITIONS-The following definitions apply to this Agreement:**
"Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.

"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.

"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").
"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.

"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.

"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.

その他

次のページにつづく➡

"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.

"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.

"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:
  (i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;
  (ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).

(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.

(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.

(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.

(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES

(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.

(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.

(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.

(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.

(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf.

(f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS

This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION

(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.

(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS

Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.

(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES

THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY

(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.

(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS

(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).

(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).

(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.

(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.

(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

ncurses に関するお知らせ

Copyright (c) 1998,2004,2005 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

次のページにつづく➡

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

glibc に関するお知らせ

This file contains the copying permission notices for various files in the GNU C Library distribution that have copyright owners other than the Free Software Foundation. These notices all require that a copy of the notice be included in the accompanying documentation and be distributed with binary distributions of the code, so be sure to include this file along with any binary distributions derived from the GNU C Library.

All code incorporated from 4.4 BSD is distributed under the following license:

Copyright (C) 1991 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [This condition was removed.]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The DNS resolver code, taken from BIND 4.9.5, is copyrighted both by UC Berkeley and by Digital Equipment Corporation. The DEC portions are under the following license:

Portions Copyright (C) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The Sun RPC support (from rpcsrc-4.0) is covered by the following license:

Copyright (C) 1984, Sun Microsystems, Inc.

Sun RPC is a product of Sun Microsystems, Inc. and is provided for unrestricted use provided that this legend is included on all tape media and as a part of the software program in whole or part. Users may copy or modify Sun RPC without charge, but are not authorized to license or distribute it to anyone else except as part of a product or program developed by the user.

SUN RPC IS PROVIDED AS IS WITH NO WARRANTIES OF ANY KIND INCLUDING THE WARRANTIES OF DESIGN, MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE OR TRADE PRACTICE.

Sun RPC is provided with no support and without any obligation on the part of Sun Microsystems, Inc. to assist in its use, correction, modification or enhancement.

SUN MICROSYSTEMS, INC. SHALL HAVE NO LIABILITY WITH RESPECT TO THE INFRINGEMENT OF COPYRIGHTS, TRADE SECRETS OR ANY PATENTS BY SUN RPC OR ANY PART THEREOF.

In no event will Sun Microsystems, Inc. be liable for any lost revenue or profits or other special, indirect and consequential damages, even if Sun has been advised of the possibility of such damages.

The following CMU license covers some of the support code for Mach, derived from Mach 3.0:

Mach Operating System
Copyright (C) 1991,1990,1989 Carnegie Mellon University
All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

or Software.Distribution@CS.CMU.EDU any improvements or extensions that they make and grant Carnegie Mellon the rights to redistribute these changes.

The file if_ppp.h is under the following CMU license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY CARNEGIE MELLON UNIVERSITY AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following license covers the files from Intel's "Highly Optimized Mathematical Functions for Itanium" collection:

Intel License Agreement

Copyright (c) 2000, Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The files inet/getnameinfo.c and sysdeps/posix/getaddrinfo.c are copyright (C) by Craig Metz and are distributed under the following license:

/* The Inner Net License, Version 2.00

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of the all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. [The copyright holder has authorized the removal of this clause.]
5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

If these license terms cause you a real problem, contact the author. */

e2fsprogs に関するお知らせ

Copyright (C) 2007 Theodore Ts'o.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, and the entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of warranties.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ALL OF WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1988 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1997, 1998, 2001 Kungliga Tekniska Högskolan
(Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 1987 by the Student Information Processing Board of the Massachusetts Institute of Technology

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the names of M.I.T. and the M.I.T. S.I.P.B. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. M.I.T. and the M.I.T. S.I.P.B. make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

dhclientに関するお知らせ

Copyright c 2004-2010 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright c 1995-2003 by Internet Software Consortium

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレスが、また、ご使用にあたってメールが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを削除することを強くおすすめします。削除の方法について詳しくは、☞50ページをご覧ください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

LAN端子に接続する機器について

電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。

廃棄するときのご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

長年ご使用のテレビの点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音（パチパチ）がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことがありませんか
- 故障状態のまま使用していませんか

↓

すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

録画・再生機能についてのご注意

本体ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜く場合、テレビ本体の電源スイッチを切って5分以上経ってから行う。
- 電源を切ったときの状態によっては、次に電源を入れた時に「前回電源を正常に切ることができませんでした。本体HDDを再認識中です。電源を切らないでください。」のメッセージが表示されることがあります。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの 交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

本体ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスク自体や本機のその他の部品の修理のために、ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合、弊社の判断にて初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて削除されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

外付けHDDをご使用時の注意事項

- 録画・再生・ムーブ中ではなくても、外付けHDDが接続された状態で、電源コードやUSBケーブル、外付けHDD側の電源コードを絶対に抜かないでください。録画された番組が消滅することがあります。
- [外付けHDD取り外し]を行ってから外付けHDDを本機から取り外してください(☞55ページ)。[外付けHDD取り外し]を行わずに外付けHDDを取り外すと、操作中の画面が消えます。
- 外付けHDDへの録画開始時間になったときは、外付けHDDを接続していなくても、録画ボタンを押すなどの操作をすると「録画中です」と表示され、操作を実行できません。見ている番組を録画する場合は、録画予約を取り消してから録画ボタンを押してください。
- 32GB未満または2TBを超える容量の外付けHDDは認識できません。
- 本機はすべての外付けHDDの動作を保証しているわけではありません。
- USBハブを使用した場合、その先に接続された外付けHDDは認識できません。
- 外付けHDDに録画予約した場合は、外付けHDDを取り外さないでください。
- 外付けHDDを初期化すると、外付けHDD内の録画した内容がすべて削除されます。
- 外付けHDDを接続してから認識するのに一定の時間がかかります。

次のページにつづく➡

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内に記録ができなかった場合、不具合･修理など何らかの原因で本製品内の記録内容が破損･消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

制約事項･注意事項について

- 1つの番組の連続録画最長時間は、約8時間です。
- 本機に録画できる最大番組数は300番組です。ハードディスクの残量がなくなると最大数まで録画できません。
- 本機ではリモコンの電源スイッチで電源を切っても、予約した録画開始時刻になると録画が始まります。ただし、本体の電源スイッチで電源を切ると、録画されません。
- 録画ボタンで録画を開始しても、すぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 停電があった場合は録画されません。本機からのメールを確認してください。
- 番組連動データは録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合でも時間変更に対応して録画することができますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されていない場合があります。
- 録画された番組の双方向サービスはご利用になれません。

その他

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されています

録画禁止

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためハードディスクに録画できません。

「番組説明」画面(☞18ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

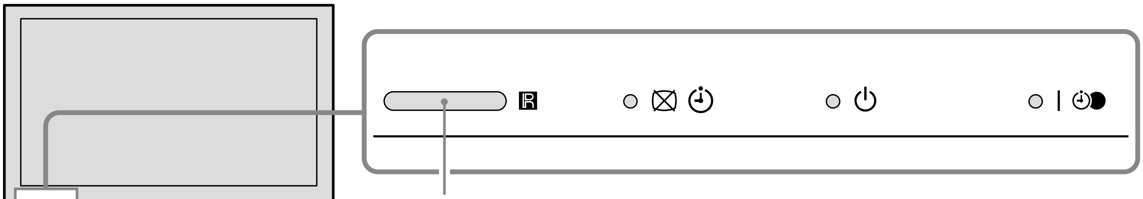
光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

各部の名前

本機前面のランプ



ランプの点灯・点滅について

主電源「切」のとき

電源が入っているとき

緑点灯

消画中(☞47ページ)

緑点灯　緑点灯

ソフトウェアの書き換え中(☞14ページ)

オレンジ点滅　赤点灯

電源スタンバイ中／ PCパワーマネジメント中(☞47ページ)

赤点灯

自己診断表示(☞62ページ)

赤点滅

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

スリープタイマー／オンタイマー作動中(☞49ページ)

ただし、消画中は緑色に点灯します。

オレンジ点灯

録画予約待機中

オレンジ点灯

予約した録画／ムーブの実行中

赤点灯

ご注意

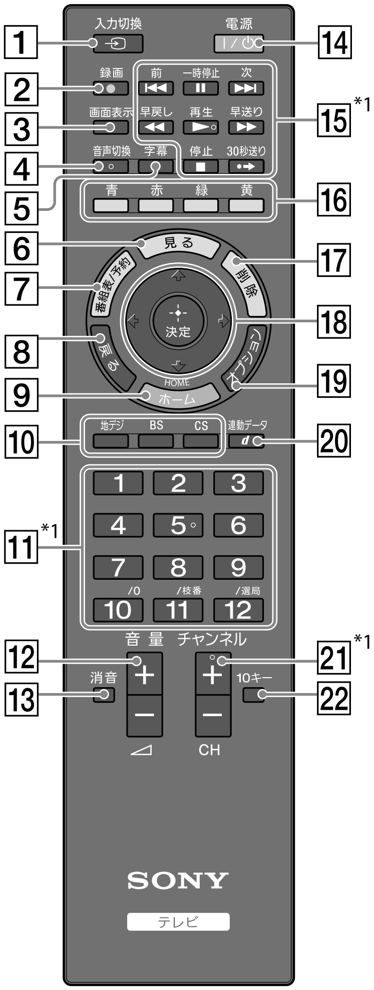
リモコン受光部／明るさセンサーの前には物を置かないでください。

その他

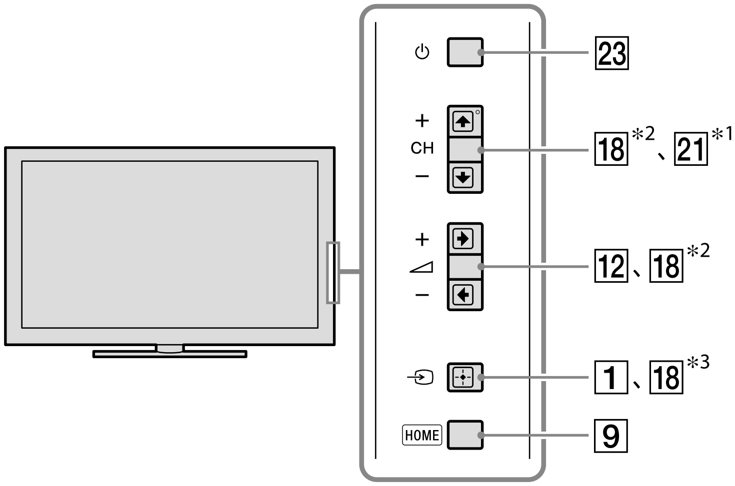
次のページにつづく➡

リモコンと本体のボタン

リモコン



本体



＊1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン、数字ボタンの「5」）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

＊2 ホームメニュー表示中は⬆⬇⬅➡として働きます。

＊3 ホームメニュー表示中のみ、決定ボタンとして働きます。

1 入力切換（☞61ページ）

2 録画（☞20ページ）

3 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えます。



4 音声切換

副音声や第2音声（デジタル放送のみ）があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

5 字幕

字幕の入／切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、[日本語]または[英語]、[切]に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

6 見る（☞20、29ページ）

7 番組表/予約（☞17、20、21、23ページ）

8 戻る

1つ前の画面に戻ります。

9 ホーム（☞32ページ）

10 放送切換用ボタン（地上デジタル、BS、CS）（☞16ページ）

11 数字

チャンネルを切り換えたり（☞16ページ）、数字を入力します。

12 音量＋／－

音量を調節します。

13 消音

消音になります。

14 電源スイッチ

電源を入／スタンバイします。

15 再生操作用ボタン（☞29ページ）

16 カラーボタン（青、赤、緑、黄）（☞19ページ）

17 削除（☞31ページ）

18 ↑↓←→決定

↑↓←→でホームメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

19 オプション（☞16ページ）

20 連動データ*d*（☞19ページ）

21 チャンネル＋／－（☞16ページ）

22 10キー（☞16ページ）

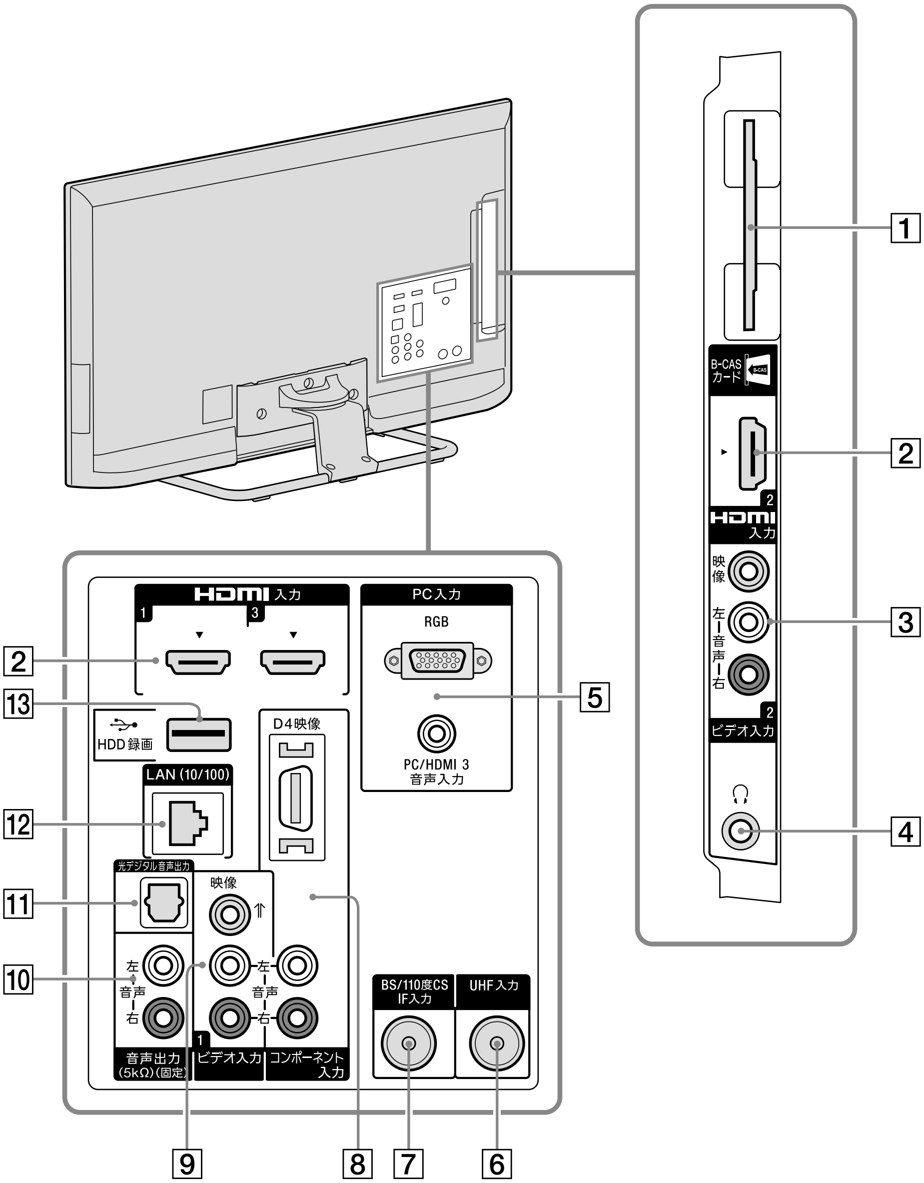
23 電源スイッチ

主電源を入／切します。

次のページにつづく➡

接続端子

本機後面



その他

1 B-CASカード挿入口（☞12ページ）

付属のB-CASカードを挿入します。

2 HDMI1、2、3入力端子（☞54ページ）

DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を入力します。

対応している映像信号：525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）、1125（1080）/24p

対応している音声信号：リニアPCM 32/44.1/48kHz

アナログ音声入力端子

HDMI3入力のアナログ音声は、PC入力の音声入力端子と兼用しています。DVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子につなぎます。

ご注意

- DVI端子搭載機器と接続する場合は、HDMI3入力に接続し、PC入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。PC入力のRGB入力端子にケーブルが接続されていない場合のみ、DVI端子搭載機器の音声が出力されます。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

3 ビデオ2入力端子（映像／音声）（ビデオID-1システム）

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

4 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

5 PC入力端子（RGB ／音声）（☞57ページ）

RGB入力端子

別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル（アナログRGB）を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。

Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

音声入力端子

別売りの音声ケーブル（ステレオミニプラグ：抵抗なし）を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。

HDMI3入力の音声入力端子を兼用しています。

6 UHFアンテナ入力端子（☞13ページ）

VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 BS/110度CS IF入力端子（☞13ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

8 コンポーネント入力端子（D4映像／音声）（☞54ページ）

D4映像入力端子

デジタルCSチューナーや録画機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

デジタルCSチューナーや録画機器などの音声出力端子につなぎます。

次のページにつづく➡

9 ビデオ1入力端子(映像／音声)(ビデオID-1システム)(☞54ページ)

録画機器やレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの再生機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

10 音声出力(5kΩ)(固定)端子(☞56ページ)

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

11 光デジタル音声出力端子(☞56ページ)

AVアンプやホームシアター機器などの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。また、アナログ録画機器などからのアナログ音声などはPCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。
Super Audio CDやDVD-Audioを再生する場合、本機と再生する機器をHDMIケーブルでつないでいるときは、本機の光デジタル音声出力端子からは、音声は出力されない場合があります。

12 LAN(10/100)端子(☞58ページ)

別売りのLANケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

13 USB端子(HDD録画)(☞55ページ)

USBケーブル(機器の付属品など)を使って、外付けHDDにつなぎます。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

その他

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- 裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。
- BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)にお問い合わせください。
- デジタル放送全般については(社)デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページをご覧ください。
  http://www.dpa.or.jp
- 地上デジタルの受信相談については、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センターにお問い合わせください。
  電話番号0570-07-0101
  (平日 9:00 ～ 21:00、土・日・祝日 9:00 ～ 18:00)

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器("メモリースティック"、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または削除された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDL-40EX52H
KDL-32EX42H
KDL-22EX42H
故障の状態: できるだけ詳しく
購入年月日:

本機のシリアルナンバーおよび定格は、本機後面に記載されています。

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

「接続ガイド」ホームページ
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.jp/support/connect/guide/index.html

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

本機を壁にかけて使用する場合の設置方法はこの取扱説明書に記載されています。別冊の取扱説明書「本機を壁にかけて使う」は付属していません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ··········0120-333-020	フリーダイヤル ···········0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話 ··········0466-31-2511	携帯電話·PHS·一部のIP電話 ···········0466-31-2531
	※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「200」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1